

ながの環境パートナーシップ会議通常総会次第

日時：平成30年6月17日（日）午前10時から正午

場所：長野市役所第一庁舎 5階 庁議室

1 開 会

2 代表理事あいさつ

3 議長選出

4 議 事

(1) アジェンダ21ながのー環境行動計画ー2018（案）について（P 1～）

(2) 会則等の一部改正（案）について（P 4～）

(3) 平成29（2017）年度活動報告について（P 6～）

①ながの環境パートナーシップ会議の活動概要（P 6～）

②プロジェクトチームの活動報告（P 15～）

プロジェクト名	H29 活動報告 ページ	H30 目標・活動 計画等 ページ
生ごみ削減・再生利用	16	33
レジ袋使用削減	17	34
市民の森づくり	18	35
太陽エネルギー普及促進	19	36
聖山自然復元	20	43
子どもの環境学習支援	21	37
ながのカーボンオフセット	22	38
小生物の育成環境保全	23	39
ぽんすけ育成	24	40
ゴマシジミ保護・育成	25	41
生態系豊かな、水に親しめる川づくり	26	42

(4) 平成29（2017）年度収支決算報告について（P 27）

平成29（2017）年度監査報告について（P 28）

(5) 平成30（2018）年度運営方針(案)について（P 29）

(6) 平成30（2018）年度活動目標・活動計画(案)について（P 32～）

(7) 平成30（2018）年度収支予算(案)について（P 44）

(8) 役員（理事・監事）の選任について

(P45)

(9) その他

5 閉 会

平成 30 年度 通常総会・資料

ながの環境パートナーシップ会議

日時:平成 30 年6月 17 日(日)午前 10 時から

場所:長野市役所第一庁舎5階 庁議室

アジェンダ 21 ながの—環境行動計画—2018（案）の概要

1 策定の背景・目的

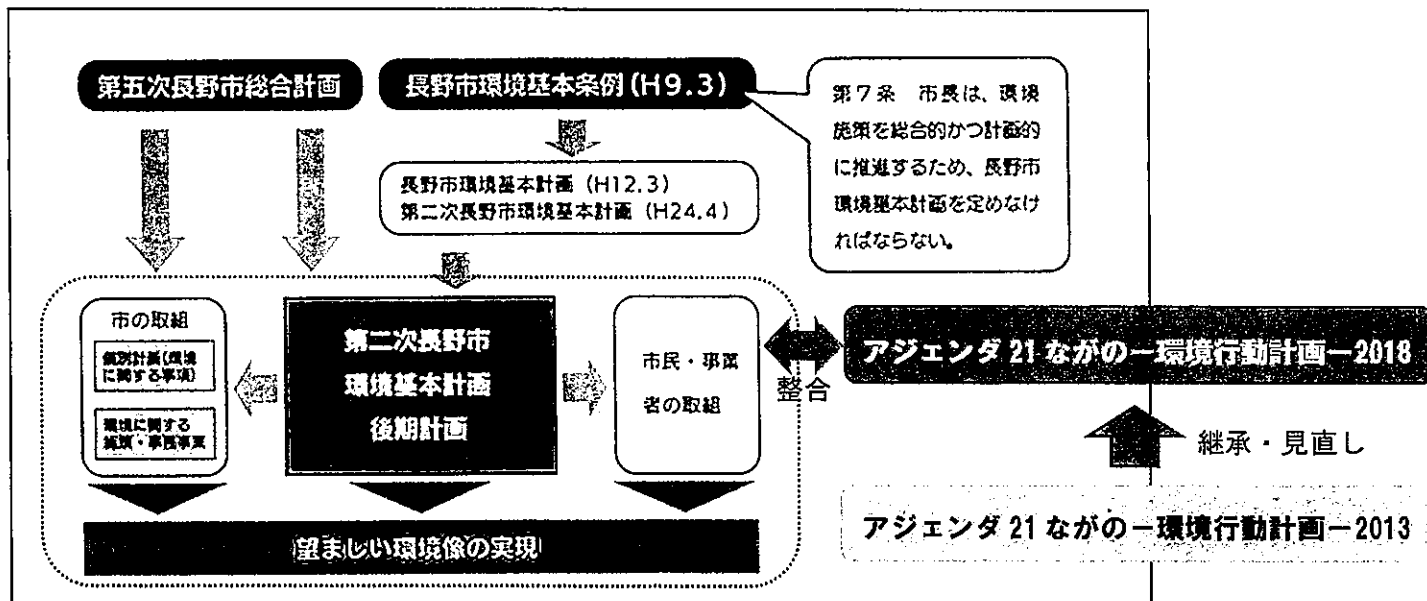
1992（平成4）年にリオ・デ・ジャネイロで開催された地球サミット（国連環境開発会議）で、持続可能な発展のための人類の行動計画「アジェンダ 21」が採択されて以来、世界中のたくさんの国と地域でローカルアジェンダの作成が行われました。長野市においても 1997（平成9）年に「長野市環境基本条例」が制定され、それに従い「長野市環境基本計画」が 2000（平成12）年に策定された後、2003（平成15）年には、長野市版のローカルアジェンダとして「アジェンダ 21 ながの」が策定されました。

アジェンダ 21 ながのは、2007（平成19）年にプロジェクトの見直しによる改定が行われ、その後、環境に関する諸課題が大きく変化してきていることから、2013（平成25）年に再度の改定を行いました。ながの環境パートナーシップ会議は、アジェンダ 21 ながのの策定に携わるほか、同アジェンダに基づきこれまで様々な環境保全活動を展開してきました。

アジェンダ 21 ながの—環境行動計画—2013 策定後は、本会の活動も順調に推移しているものの、目標に未だ至っていないものも散見されます。また、地球温暖化問題等を発端に世界情勢の流れが変化してきました。

このような状況と第二次環境基本計画後期計画（計画期間：H29.4～H33.3）の策定を受け、アジェンダ 21 ながのを継続的に進めるとともに、同後期計画と整合を図り世界情勢の動向を踏まえながら、現行アジェンダ 21 ながのを継承し目標値の再設定などの時点修正を行い、アジェンダ 21 ながの—環境行動計画—2018（案）を策定しました。

【計画の位置付け】



2 見直しのポイント

次ページを参照

項目	ページ数	見直しの担当	継承・見直し区分
はじめに			
(1) アジェンダ 21 ながのとは	1～2	事務局	継承
現行のとおり			
(2) 策定・改定の経緯	2～3	事務局	継承・時点修正
経緯の中に「2030 アジェンダ」と「パリ協定」の内容を追記			
第1章 わたしたちの目指すもの ～長野市の環境ビジョン～			
1 長野市の環境ビジョン	4～5	事務局	継承・時点修正
本計画と第五次長野市総合計画及び第二次長野市環境基本計画後期計画の関係を追記			
2 環境ビジョンを実現するために	5～7	事務局	継承・時点修正
■概念図に第五次長野市総合計画を追記			
■ビジョン・プロジェクト体系を修正（実行中のプロジェクトと長野市環境基本計画後期計画の施策テーマ）			
3 P会議の4年間の活動と 今後の展望			
(1) P会議の4年間の活動			
① 全体の総括について	8～9	事務局	継承・時点修正
P会議の活動強化を図るため、民間団体の助成金による活動資金の確保や事業者の参画を促進するため、新たに「プロジェクトサポーター制度」を創設したことなどを明記			
② 各プロジェクト活動について	10～42	各プロジェクト・事務局	時点修正
■各プロジェクト活動は、全て内容修正（原則、1「理想の街」に向けて成果のあったもの、2実現できなかったこと、3課題、4今後の展望の4項目について修正）			
■シンボル事業や各団体事業の支援について追記			
(2) P会議の今後の展望（①～⑤）	43～45	事務局	継承・時点修正
平成25年以降、3つのプロジェクトが設立されたこと、信州大学の地域環境演習について追記			
第2章 理想の街にむけて			
1 行動計画と数値目標	46～52	各プロジェクト・事務局	時点修正
■各プロジェクトの行動計画等を全て修正			
■第五次長野市総合計画及び第二次長野市環境基本計画後期計画と同じ数値目標である箇所を明記			
■2030 アジェンダの目標がどの行動計画等に該当するのか明記			
第3章 パートナースhipで進める			
1 P会議の推進体制	53～54	事務局	継承
現行どおり			
2 進捗管理	55	事務局	継承
現行どおり			
資料	56～64	事務局	時点修正
2030 アジェンダの内容を追記等			

3 今後の取組

① 市民・事業者・行政の参加と協働

市民・事業者・行政が協働して取り組んでいる本会及び各プロジェクトチームの活動を更に推進していくために、今後も活動や成果について、情報発信し本会の認知度を高め、広く市民や事業者などに参加を呼びかけていきます。

② みんなが参加する「シンボル事業」

各プロジェクトチーム間の横断的なつながりや会員全員が協働して行う活動などが不十分であるため、ながの環境団体大集合の開催をはじめとしたシンボル事業や環境学習会を引き続き実施していきます。

③ プロジェクトの着実な推進

各プロジェクト活動の進捗管理と新規提案の積極的な受入れにより、プロジェクト活動の質を高めるとともに量を増やしていきます。

④ 環境団体などの連携

環境問題の解決には、「ながの環境パートナーシップ会議」のほか、環境保全活動に取り組んでいる地域や環境団体などと協働で取り組むことが必要です。そのためには、ながの環境団体大集合や信州大学工学部地域環境演習などの開催を通じて、環境保全活動に取り組む市民・事業者・行政などの交流により、互いの連携、協働につながる事業を継続的に実施し、ながの環境パートナーシップ会議の「つなぐ役割」を強化していきます。

⑤ 持続可能な社会をめざして

持続可能な社会を実現していくためには、かけがえのない環境を次世代に手渡していくことが重要です。ながの環境パートナーシップ会議では、現在活動しているプロジェクトについて、これまでの成果や課題などを整理した上で、活動を継続していくとともに、新たなプロジェクトを立ち上げるなど活動の活性化を図り、今後も持続可能な社会を目指した環境保全活動を推進していきます。



今後の取組①～⑤を実施することで、地域から地球に広がる環境保全活動を積極的に推進し、良好な自然環境と生活環境を将来の世代に引き継いでいきます。

ながの環境パートナーシップ会議会則の一部を改正する会則（案）要旨

ながの環境パートナーシップ会議事務局

事 項	説 明
1 改正の理由	平成30年4月1日付け長野市行政機構改革及び環境負荷の低減のため、総会を招集するときの通知方法を見直すことに伴い、改正するもの
2 改正の内容	(1) 本会の事務局を環境部環境政策課内から環境部環境保全温暖化対策課内に改める（第2条関係）。 (2) 総会を招集するときの通知方法に電磁記録を加える（第22条関係）。
3 施行期日	この会則は、平成30年6月17日から施行する。

ながの環境パートナーシップ会議会則の一部を改正する会則（案）

ながの環境パートナーシップ会議会則（平成21年6月25日施行）の一部を次のように改正する。

第2条中「環境部環境政策課内」を「環境部環境保全温暖化対策課内」に改める。
第22条第3項中「書面」の次に「又は電磁記録」を加える。

附 則

この会則は、平成30年6月17日から施行する。

新旧対照表

改正案	現 行
(事務所) 第2条 本会の事務所は、 <u>長野市環境部環境保全温暖化課内に置く。</u>	(事務局) 第2条 本会の事務所は、 <u>環境部環境政策課に置く。</u>
(招集) 第22条 総会は、理事会の決議に基づき代表理事が招集する。 2 省略 3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁記録をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。	(招集) 第22条 総会は、理事会の決議に基づき代表理事が招集する。 2 省略 3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。

ながの環境パートナーシップ会議事務局規程の一部を改正する規程（案）要旨

ながの環境パートナーシップ会議事務局

事 項	説 明
1 改正の理由	平成30年4月1日付け長野市行政機構改革に伴い、改正するもの
2 改正の内容	本会の事務局を環境部環境政策課内から環境部環境保全温暖化対策課内に改める（第2条関係）。
3 施行期日	平成30年6月17日から施行する。

ながの環境パートナーシップ会議事務局規程の一部を改正する規程（案）

ながの環境パートナーシップ会議事務局規程（平成22年2月23日施行）の一部を次のように改正する。

第2条中「長野市環境部環境政策課内」を「長野市環境部環境保全温暖化対策課内」に改める。

附 則

この規程は、平成30年6月17日から施行する。

新旧対照表

改正案	現 行
<p>(事務局)</p> <p>第2条 事務局は、<u>環境部環境保全温暖化対策課内</u>に置く。</p>	<p>(事務局)</p> <p>第2条 事務局は、<u>長野市環境部環境政策課内</u>に置く。</p>

平成 29 (2017) 年度ながの環境パートナーシップ会議活動報告書

活動の概要

平成 29 (2017) 年度は、長野市の環境ビジョンの実現に向け「つなぐ・伝える・行動する」を行動指針とし、プロジェクト、フォーラム、広報活動などに取り組みました。また、本会の行動指針である「アジェンダ 21 ながの-環境行動計画-」の見直しを行ったほか、希少動植物保護団体の参画によるプロジェクトの創設や事業者・他団体との連携など、新たな協働による環境活動を展開しました。

1 各プロジェクトの活動

(1) プロジェクト及びスペシャルプロジェクトへの取り組み

① 生ごみ削減・再生利用プロジェクト

キッズ生ごみ農園クラブを創設してから 2 年が経過。生ごみの堆肥を利用して野菜を収穫し、春と秋に収穫祭を開催したほか、生ごみと野菜の交換市を毎月定期的に開催、朝市で野菜の販売もできました。また、各種イベントに参加(信州環境フェアにて展示・クイズ・生ごみ教室、アモーレフェスタにて展示・クイズなど)し、啓発活動を実施しました。

また、生ごみ堆肥化キャラバン隊は、安茂里地区・若槻地区で活動を実施(維持)したほか、住民自治協議会主催の生ごみ減量講座や生ごみを出さないお料理教室等に参画し、周知啓発活動を行いました。

② レジ袋使用削減プロジェクト

「マイバッグふえすた」の手作りマイバッグコンテストでは例年通り、多くの申し込みがあり、市民にマイバッグを PR する貴重な機会となりました。また、新たな啓発用ツールのパンフレットを長野市内の全小学校に配布を行いました。これらの活動が実りマイバッグ持参率が 3 年連続で 60% を超えました (H29 年度 : 60.3%)。

③ 市民の森づくりプロジェクト

29 年度は中学生、高校生の森林整備体験や山の日ウォーキングの自然観察会など新たな活動を実施しました。第二の市民の森選定作業は進みませんでした。また、「あさかわの里山と森を守る会」との合同作業など地元の方々とのつながりを進める活動ができました。29 年度の活動参加者は、山の日ウォーキング、環境学習会等に大勢の方が参加していただき年間 700 名を超える結果となりました。

また、活動実日数は増加傾向にあり活動の更なる広がりを感じました。

④ 太陽エネルギー普及促進プロジェクト

各種イベントに参加し啓発活動を行いました。また、ソーラーシェアリングの先進地(千葉県いすみ市)の視察を通して、太陽光発電と荒廃農地の再生を長野市で実施できないか検討を開始しました。

⑤ 聖山自然復元プロジェクト

リーダーの体調不良等諸事情により計画していた現場での活動がまったくできませんでしたが、他の環境団体、企業相互の交流・協働の場となった「第 7 回ながの環境団体大集合」に参加(出展)し、啓発活動を実施しました。

⑥ 子どもの環境学習支援プロジェクト

中高生、大学生を対象とした環境学習の支援として「第 6 回国際ユース環境会議」(開催場所:小田切地区)を開催し、25 名のユースの参加を得て、「フードロス」をテーマに環境ワークショップや英語でのディスカッションなどを行いました。併せて、小田切地区の自然や生活についても学びました。

開催するに当たり、長野県環境保全協会、株式会社ミールケア、プロジェクトサポーター事業者の直富商事株式会社などの各団体と連携・協力を得ることができ、協働関係の構築ができました。

⑦ ながのカーボンオフセットプロジェクト

事業者・団体・市民が手軽に参加できるカーボンオフセットクレジット（CO2 排出権）の制度設計を予定していたが、具体的な活動の展開には至りませんでした。なお、今年度は、信州大学工学部地域環境演習Ⅰで2名の学生を受け入れ、大学内で利用できる仕組みづくりを検討しました。

⑧ 小生物の育成環境保全プロジェクト

例年通り地元小学校児童生徒や市民を対象とした自然観察会を開催したほか、オオムラサキ繁殖地の整備（下草刈り・間伐・外来植物ニワウルシの除伐・飼育舎の設置等）を実施したことにより、越冬幼虫調査の結果、多くの幼虫を確認することができました。また、「松代ベニエドヒガン1,000本桜大作戦」と銘打って、エドヒガンを市内に広げるため、エドヒガン種採取及び昨年育苗した苗の接ぎ木作業を実施し、生長した苗木を善光寺や地元小学校等に約400本を配布しました。

⑨ ぽんすけ育成プロジェクト

ぽんすけ（シナイモツゴ）達が住むすばらしい里山の保全・再生を目指して、チーム自ら稲作と林檎の栽培を開始し「ぽんすけブランド」として販売しました。また、他団体等の協働によるため池の保全活動等を行うなどぽんすけを含む里山の保全活動が展開できました。

⑩ ゴマシジミ保護・育成プロジェクト【新規プロジェクト：平成30年1月理事会で承認】

ゴマシジミの生息数が少ないため、現状維持に傾注しました。具体的には、生息地内の草刈・間伐の捕獲禁止の立て看板の作成・設置、生息地内のパトロール・注意喚起、ワレモコウの育苗・植栽・保護などを実施しました。また、ゴマシジミの一生を描いた紙芝居を作成し、啓発活動として各地で上演したほか、紙芝居を全小学校へ配布しました。

⑪ 生態系豊かな、水に親しめる川づくり（水環境保全）プロジェクト

休会（活動継続に向け調整中）

⑫ 第7回ながの環境団体大集合スペシャルプロジェクト

ながの環境団体大集合の開催に向け、スペシャルプロジェクトを立ち上げ、全体構成やコンテストの方法等について各種団体等との協働により企画し、開催しました。なお、チーム員に学生3名が企画段階から参画しました。

（任期：5月26日（金）から1月16日（火）まで、会議開催数：8回）

【リーダー】 渡辺ヒデ子（ながの環境パートナーシップ会議）

【メンバー】 中城（長野市市民協働サポートセンター）、今井（長野市ボランティアセンター）、赤羽（ながの環境パートナーシップ会議）、堀池（長野市地球温暖化防止活動推進センター・ながの環境パートナーシップ会議）、河西（ながの環境パートナーシップ会議）、木山（信州大学工学部）、長房（信州大学工学部）、酒井（長野県短期大学）、水野（事務局）、関口（事務局）

(2) プロジェクトサポーター制度について

現在4つの各プロジェクトとサポーター事業者が次のとおり協働による事業を展開しました。

残念ながら29年度中は、新たなマッチングはできませんでしたが、引き続き、事業者との協働体制による環境活動を推進していきます。

※プロジェクトサポーター制度とは…

事業者の参画をより一層促していくため、プロジェクト活動に協働・支援・共感等いただける事業者が、直接、プロジェクト活動に、人的・活動資金・活動場所などを支援いただき、協働体制による継続的な環境活動の展開を図ることを目的に平成28年度に当制度を創設しました。

※協働事業の状況は次のとおりです。

【協働事業の状況】

プロジェクト名	サポーター事業者名	主な協働事業内容
生ごみ削減・再生利用	長野市委託浄掃事業協同組合	夏、秋の収穫祭へ組合員が参加
子どもの環境学習支援	直富商事株式会社	国際ユース環境会議へ社員を講師として派遣
小生物の育成環境保全	コマキ工業株式会社	桜の育苗事業に人的等の支援
ぼんすけ育成	信陽食品株式会社	自然観察会へ食品提供

(3) 信州大学工学部「地域環境演習 I 2017」の受け入れ

信州大学工学部が、「自分でPDCAサイクルを機能させて行動できる人材」の養成を目指し実施する「地域環境演習 I 2017」の受講生を、各プロジェクトチームで受け入れ、協働による環境活動を行いました。

また、9月23日(土)には、信州大学工学部で、参加学生による活動成果発表会が行われました。

【信大生の受入人数】 11人(前年度28名)

【受入プロジェクト】 レジ袋使用削減 5人、子どもの環境学習支援 4人、ながのカーボンオフセット2人

2 ながの環境パートナーシップ会議全体での活動

(1) 第7回ながの環境団体大集合

団体や企業の環境活動を次世代に向けて、どのようにつなげていくのかをテーマに「次世代へつなぐ環境活動アイデアコンテスト」を開催しました。また、団体、企業相互の交流・協働のきっかけになることを目的に、各ブースでポスターセッションを行いました。

また、若者の皆さんが審査員となり、各団体や企業の活動について若い世代のセンスあふれるユニークな表彰を行い、環境活動を次世代につなぎ伝える場となりました。

日時：平成29年12月16日(土) 13:00~16:30(開場12:30)

会場：長野市生涯学習センター4階 大学習室1・2・3、ホワイエ、控室1・2・3

【コンテスト】

参加団体等による3分間のプレゼンを行い、そのプレゼンに対し審査員や来場者との3分間の質疑応答を実施しました。

【ポスターセッション(ブース発表・交流)】

来場者は自由に各ブースを見学しながら、活動発表の確認や交流を行いました。また、フードドライブ及び信州子ども応援ドライブの受付コーナーを設置し、それぞれの活動を支援しました。

【P会議環境スタンプラリー】

環境クイズを通して楽しく学び、環境問題等を自分のこととして考えてもらうため、スタンプラリーを行いました(スペシャルプロジェクトの若者メンバー4名が企画)。

【大集合した団体・企業・学校】

大集合した団体等の皆さん ※はブース出展のみ

○団体 信州水環境マップ・ネットワーク、NPO法人フードバンク信州※、NPO法人NPOホットライン信州、NPO法人みどりの市民、希少種の会※、ライトダウンながの実行委員会、浅川地区住民自治協議会 ゴマシジミ保護・育成チーム、母さんの玉手箱本舗企業組合※

○企業 株式会社ミールケア(いきものみつけファーム in ながの)、株式会社八十二銀行※

○学 校 信州大学工学部環境学生委員会※、長野県立長野工業高等学校機械科、長野県立長野工業高等学校基礎工学科、長野県立長野工業高等学校環境システム科、長野県立更級農業高等学校環境科学コース

○ながの環境パートナーシップ会議プロジェクトチーム
生ごみの削減・再生利用、レジ袋使用削減、市民の森づくり、太陽エネルギー普及促進
聖山自然復元、子どもの環境学習支援、小生物の育成環境保全、ぼんすけ育成※

【審査委員長】 高木直樹氏（信州大学工学部教授）

【審査員】 市民より公募・16～30歳：18名

長野高等学校学生（2名）、第一学院高等学校長野キャンパス学生（2名）

長野東高等学校学生（3名）、信州大学教育学部学生（2名）

信州大学工学部大学院院生（2名）、信州大学工学部学生（1名）

会社員（1名）、長野市役所職員（5名）

【表彰5団体】 ・夢があるで賞：生ごみの削減・再生利用プロジェクト

・私たちがやってみたくて賞：ライトダウンながの実行委員会

・想いが伝わったで賞：NPO法人みどりの市民

・つないでいくべきで賞：小生物の育成環境保全プロジェクト

・審査委員特別賞：NPO法人NPOホットライン信州

【参加者数】 198名（前年度：180名）

3 広報

(1) ながの環境パートナーシップ会議ホームページの運用

- ・各プロジェクトの出前講座やイベント等の予定及び活動報告などを掲載
- ・他団体などから情報提供されたイベント等を掲載

(2) ながの環境パートナーシップ会議平成28年度活動成果報告書「手をむすんで」を発行

ニュースレター「手をむすんで」に代わる本会の活動を情報発信していくため、新たに平成28年度のながの環境パートナーシップ会議活動成果報告書「手をむすんで」を発行し、会員や関係機関にPRしたほか、新規会員の勧誘時に活用いたしました。

【規格】 表紙4P 本文36P 中綴じ仕上げ

【印刷数】 300部

【内容】 ・ながの環境パートナーシップ会議の案内
・平成28年度運営方針
・ながの環境パートナーシップ会議活動成果報告
・プロジェクトの活動成果報告
・信州大学工学部地域環境演習の報告
・新聞記事
・役員名簿

【協賛団体】 発行に際し、協賛いただいた事業者8団体の広告を掲載しました（広告料を頂戴しました）。

(3) イベント等への参加

① 信州環境フェア 2017

日時：平成29年7月29日（土）午前10時～午後5時

平成29年7月30日（日）午前10時～午後4時

会場：長野市 ビッグハット

ながの環境パートナーシップ会議ブース来場者：450人（前年度：400人）

内容：ながの環境パートナーシップ会議の活動紹介（パネル展示、パンフレット配布など）
プロジェクト活動紹介、環境クイズなど（生ゴミ削減・再生利用、レジ袋使用削減
市民の森づくり、ぼんすけ育成）

※新規会員の勧誘を行ったところ、1個人、1団体が入会しました。

(4) 電子メールの活用

平成30年4月から電子メールにて本会会員、関係機関及び長野市役所職員宛へ各プロジェクトチーム等が開催するイベントの情報発信を開始しました。

4 他団体との連携

(1) 第7回ながの環境団体大集合への事業所・環境保全団体への働きかけ

事業所・環境保全団体との連携強化を図るため、周知を図り参加依頼を行いました。

参加団体：15団体

(2) 「ライトダウンキャンペーン 2017in ながの（10周年記念）」に参加協力

本会は、ライトダウンながの実行委員会の構成団体として、温暖化防止・CO₂削減の啓発活動に協力しました。

【キャンペーン期間】 夏： 6月21日（水）～7月7日（金） 午後8時から10時

冬： 12月8日（金）～12月22日（金） 午後8時から10時

(3) 事業所・環境保全団体との活動の連携

【生ゴミ削減・再生利用プロジェクト】

住民自治協議会と協働で、生ゴミの堆肥化講座を開催しました。

【レジ袋使用削減プロジェクト】

スーパーの協力を得て、レジ袋削減を考える会など多くの環境保全団体とともに店頭キャンペーンを行いました。

【市民の森づくりプロジェクト】

浅川地区の「あさかわの里山と森を守る会」との合同作業など地元の方々とのつながりを進める活動を実施し、協力体制の確立を図りました。

【太陽エネルギー普及促進プロジェクト】

若槻地区で進められている営農型ソーラーシェアリング事業の事業主体である一般社団法人田中里山づくり里おこし事業会とソーラーシェアリングについて意見交換を行いました。

【子どもの環境学習支援プロジェクト】

「第6回国際ユース環境会議」を、実行委員会、参加スタッフ、支援組織との協力により継続して開催しました。

【小生物の育成環境保全プロジェクト】

オオムラサキ繁殖地での活動を、住民自治協議会及び他の保全団体を含めて組織された連絡会で

情報共有しながら、計画的な保全と環境学習会等を実施しました。

【ぼんすけ育成プロジェクト】

絶滅危惧種のシナイモツゴ（ぼんすけ）を保護していくため、県と連携を図りながら活動を実施しました。また、NPO法人生態工房（東京）との協働によりシナイモツゴの生息地であるため池の保全活動等を行いました。

【ゴマシジミ保護・育成プロジェクト】

長野市霊園に生息する絶滅危惧種「ゴマシジミ」の保護・育成活動を県、市及び研究機関との連携、協力により実施しました。また、浅川小学校児童の協力を得ながら、ゴマシジミの食草「ワレモコウ」の植栽を実施したほか、啓発活動として、紙芝居（がんばれ!!ゴマシジミ）を作成し、地元のボランティアクラブにこにこ一座と協力して各地で上演しました。

(4) フードドライブ及び信州子ども応援ドライブに協力

家庭で利用されていない食品・生活用品等の寄附を受け、必要とされている家庭や信州子ども食堂へお届けしているNPO法人フードバンク信州及びNPO法人NPOホットライン信州の事業に賛同し、フードドライブ及び信州子ども応援ドライブに協力しました。

事業名	実施日
フードドライブ	12/16：第7回ながの環境団体大集合
信州子ども応援ドライブ	12/16：第7回ながの環境団体大集合

(5) 身近な水環境全国一斉調査 2017に参加

河川をはじめとする身近な水環境に対する市民の意識の高まりを受け、全国各地で数多くの市民団体等により水質調査が行われています。このような調査を全国統一の手法で同日に実施し、水環境に関する市民の理解と関心を深めることを目的に、平成16年から毎年、世界環境デー（6月5日）に最も近い日曜日を中心に全国一斉調査を実施しています。

そこで、本会では、この趣旨に賛同するとともに本会の活動の拡大と活性化を図るため、同調査活動に参加しました。

【開催日時】 6月4日（日） 8:00～12:00

【調査場所】 長野市内の千曲川、犀川への流入河川等約50か所

【参加者数】 4人

(6) 特定外来生物「アレチウリ」の駆除活動に参加協力

豊かな環境づくり長野地域会議が主催するアレチウリの駆除活動に参加協力しました。なお、本会は、同会議の会員です。

【開催日時】 6月30日（金） 9:30～11:00

【駆除会場】 長野市若穂牛島落合橋運動場周辺

【参加者数】 6人

(7) 山の日ウォーキング「スパイラルの森 森林散策と丸太切りに挑戦しよう」に共催

山の日が制定されたことを記念し、毎年、山に親しむとともに自然の大切さや地域の歴史を理解するため開催しています。本会は、共催者として運営に携わりました（主催：長野市）。

【開催日時】 平成29年8月11日（金・祝） 9:45～13:30

【場 所】ボブスレー・リュージュパーク

【参加者数】92人

(8) 秋のゴミゼロ運動及び春のゴミゼロ運動に参加

市民の手でごみのない美しい環境をつくるための全市的な環境美化運動として、クリーン長野運動推進本部が主唱する「ゴミゼロ運動」に参加協力しました。

【開催日時】秋：平成29年10月15日（日）9:00（概ね1時間）

春：平成30年5月27日（日）9:00（概ね1時間）

【場 所】秋：川中島古戦場史跡公園ほか、春：犀川第2緑地ほか

【参加者数】秋：11人 春：20人

(9) 長野市環境こどもサミットに参加協力

こども達が環境問題を理解し、地球環境について深く考え、今後の活動を契機となる場を提供するため、毎年環境こどもサミットが開催されています。本会は、主催者である同サミット実行委員会の構成メンバーとして、運営の一翼を担いました。

【開催日時】平成29年10月22日（日）10:00～13:30

【場 所】長野市芸術館アクトスペース

【参加者数】200人

(10) 地域づくり出会いのひろば（主催：長野県長寿社会開発センター）に参加

シニア世代や地域づくりに関心のある者がボランティア活動や地域づくり活動、就業などの社会参加活動に積極的に取り組むとともに、地域・業種を超えた新たな連携や協働の創出を図るため、「人材を求める側」と「何かをしたい側」を効果的にマッチングする「地域づくり出会いのひろば」に参加し、本会の活動を大いにPRしてきました。今後も主催者である長野県長寿社会開発センターと情報共有を図りながら、新規会員の勧誘や他団体との協働連携を推進していきます。

【開催日時】平成30年2月7日（水）13時30分～16時

【場 所】長野県社会福祉総合センター 3F 講堂他

【本会参加者】金井代表理事、関口（事務局）

※本会ブースへ来訪した人数 男性：3人 女性：1人 計4名

※P会議と今後連携が可能と思われる団体数 4団体

(11) ポイ捨て・歩行喫煙等防止条例の施行セレモニー及び周知啓発活動

同条例に賛同するとともに本会の活動をアピールするため、同条例の施行日である平成30年4月1日に開催されたセレモニー及び周知啓発活動に参加しました。

【開催日時】平成30年4月1日（日）9:00～10:00

【場 所】長野駅コンコース広場等

【参加者数】10人

(12) 長野工業高等学校へ出前講座

同校の依頼を受け、本会の概要等を同校機械科の担当教諭及び生徒に説明してきました。

【開催日時】平成30年5月28日（月）12:40～14:00

【場 所】長野工業高等学校会議室

【参加者数】 11人

(13) 他の環境団体等への周知

平成 28 年度活動成果報告書「手をむすんで」やパンフレットを個人や事業所などに配付をしました。
また、各新聞に記事として取り上げられるなど環境活動をPRしました。

5 会議

(1) 通常総会

日 時：平成 29 年 6 月 11 日（日） 10：00～11：30

会 場：長野市ふれあい福祉センター 5 階 ホール

出席数：出席者数 96 名（出席者 35 名＋委任状 61 名 会員数 135 名）

内 容：平成 28（2016）年度活動報告、収支決算報告、監査報告について

平成 29（2017）年度運営方針（案）、活動目標・活動計画（案）、収支予算（案）について

(2) 理事会

ながの環境パートナーシップ会議の運営等について協議するため、理事会を 12 回開催しました。

第 4・6・7・8・11・12 回の理事会では、プロジェクトリーダーとの合同会議を開催し、各チームリーダーから上半期の進捗状況と下半期の計画等について説明を受け、プロジェクト活動の進捗状況について助言を行いました。

また、事業所会員の参画、本会運営体制やアジェンダ 21 ながの環境行動計画の見直しなど、本会が持つ課題に対して引き続き対応しました。

回数	開催日時	出席理事等数	備考
第 1 回	6 月 6 日（火） 18:00～	8 人	
第 2 回	7 月 6 日（火） 18:30～	10 人	
第 3 回	8 月 3 日（木） 18:00～	8 人	
第 4 回	9 月 14 日（木） 18:00～	9 人	合同会議
第 5 回	10 月 12 日（木） 18:00～	7 人	
第 6 回	11 月 16 日（木） 18:00～	6 人	合同会議
第 7 回	12 月 14 日（木） 18:00～	9 人	合同会議
第 8 回	1 月 18 日（木） 18:00～	6 人	合同会議
第 9 回	2 月 15 日（木） 18:00～	8 人	
第 10 回	3 月 22 日（木） 18:00～	8 人	
第 11 回	4 月 12 日（木） 18:00～	7 人	合同会議
第 12 回	5 月 12 日（木） 18:00～	9 人	合同会議

(3) 各プロジェクトチームのミーティングの開催

各チームで随時開催しました。

6 市政等への参画

審議会等名称	会員名
長野市総合計画審議会委員 長野市環境審議会委員 長野市地球温暖化防止活動推進センター運営委員 長野広域連合ごみ処理手数料審議会委員 豊かな環境づくり長野地域会議運営委員	金井 三平
長野市廃棄物減量等推進審議会委員 (～H29. 11. 28)	渡辺 ヒデ子
長野市健康増進・食育推進審議会委員	佐藤 敏夫
長野市廃棄物減量等推進審議会委員 (H29. 11. 29～)	西澤 和雄
長野県緑の基金理事	片桐 勝治
長野市環境こどもサミット実行委員会委員	小山 勝宏

7 その他

(1) 寄附

平成 30 年 5 月 18 日、長野卸売市場協同組合様から本会へ寄附金の贈呈がありました。

【内容】長野卸売市場内の約 80 の事業所で作る同組合は、市場内で出た古紙を原料にトイレットペーパーを製造し、各事業所に販売しています。このたび、同組合からこのトイレットペーパーの売上金の一部を市内の環境保全活動に役立ててほしいと本会に寄附していただきました。

(2) 会員

平成 30 年 5 月末現在の会員数 150 人 (平成 29 年 5 月末 135 人)

(3) ながの環境パートナーシップ会議への年間活動参画者数

平成 18 年度 1,676 人	平成 24 年度 4,176 人
平成 19 年度 2,495 人	平成 25 年度 3,638 人
平成 20 年度 3,152 人	平成 26 年度 3,566 人
平成 21 年度 2,448 人	平成 27 年度 3,766 人
平成 22 年度 2,790 人	平成 28 年度 4,112 人
平成 23 年度 4,116 人	平成 29 年度 4,629 人

平成29(2017)年度活動報告書

ながの環境パートナーシップ会議 [総括表]

ビジョン	山にみどり・川に清流・谷に風・空の星 自然と和して発展するまち・人のくらし みんなの知恵と行動でつくる環境・未来・ながの		
基本方針	環境問題に関わる人や団体を結び(つなぐ)、情報を共有する(伝える)し、共に活動(行動する)する役割を担うことにより、環境保全に向けたネットワークを築き、地球環境問題へと視野を広げながら、地域から地球規模に広がる環境保全活動を推進し、環境ビジョンの実現を目指していく。		
活動方針	①アジェンダの推進及び見直し ②協働の拡大と連携強化 ③新たな広報ツールとして活動成果報告書「手をむすんで」を刊行 ④民間団体助成金の活用を推進		
実施プロジェクト等	①	生ごみ削減・再生利用プロジェクト	会員数:18人
	②	レジ袋使用削減プロジェクト	会員数:5人
	③	市民の森づくりプロジェクト	会員数:31人
	④	太陽エネルギー普及促進プロジェクト	会員数:8人
	⑤	聖山自然復元プロジェクト	会員数:4人
	⑥	子どもの環境学習支援プロジェクト	会員数:3人
	⑦	ながのカーボンオフセットプロジェクト	会員数:1人
	⑧	小生物の育成環境保全プロジェクト	会員数:35人
	⑨	ぼんすけ育成プロジェクト	会員数:7人
	⑩	ゴマシジミ保護・育成プロジェクト	会員数:1人
	⑪	生態系豊かな、水に親しめる川づくり(水環境保全)プロジェクト ※休会	会員数:4人
	⑫	ながの環境団体大集合スペシャルプロジェクト(5~1月:8回開催)	メンバー数:11人
活動実績	実施期間	内 容	人数
	H29.6~H30.5	生ごみ削減・再生利用プロジェクト	779
	H29.6~H30.5	レジ袋使用削減プロジェクト	205
	H29.6~H30.5	市民の森づくりプロジェクト	740
	H29.6~H30.5	太陽エネルギー普及促進プロジェクト	95
	H29.6~H30.5	聖山自然復元プロジェクト	1
	H29.6~H30.5	子どもの環境学習支援プロジェクト	149
	H29.6~H30.5	ながのカーボンオフセットプロジェクト	12
	H29.6~H30.5	小生物の育成環境保全プロジェクト	732
	H29.6~H30.5	ぼんすけ育成プロジェクト	351
	H29.6~H30.5	ゴマシジミ保護・育成プロジェクト	279
	H29.6~H30.5	生態系豊かな、水に親しめる川づくり(水環境保全)プロジェクト ※休会	0
	H29.5~H30.1	ながの環境団体大集合スペシャルプロジェクト(5~1月:8回開催)	88
	H29.6.4	身近な水環境全国一斉調査2017	4
	H29.6.11	平成29年度通常総会	96
	H29.6~H30.5	理事会(第1回~12回)	95
	H29.6.30	豊かな環境づくり長野地域会議主催によるアレチウリ駆除活動	6
	H29.7.29-30	信州環境フェア2017	450
	H29.8.11	山の日ウォーキング	92
	H29.10.15	秋のゴミゼロ運動	11
	H29.11.28	第22回長野市環境子どもサミット	200
	H29.12.16	第7回ながの環境団体大集合	198
	H30.2.7	地域づくり出合いのひろば	2
	H30.4.1	「改正ボイ捨て条例」施行セレモニー及び周知・啓発	10
	H30.4.16	信州大学工学部 地域環境演習Ⅰガイダンス(学生数はプロジェクト報告に含む)	1
	H30.5.23	豊かな環境づくり長野地域会議総会	2
	H30.5.27	春のゴミゼロ運動	20
H30.5.28	長野工業高校へ出前講座(ながの環境パートナーシップ会議の概要について)	11	
	一年間の活動・参加者数	4,629	
成果・課題	<<活動の成果>> ・10プロジェクトとスペシャルプロジェクトを推進 ・第7回ながの環境団体大集合を開催(環境団体や企業等の環境活動を次世代に伝えるとともに、団体、企業相互の交流・協働のきっかけづくりのために「次世代へつなぐ環境活動アイデアコンテスト」を開催し、若者の皆さんが審査員を務め17団体・企業のプレゼンを審査したほか、展示ブースにおいては、ポスターセッションを実施した) ・新たな広報ツールとして、活動成果報告書「手をつないで」を発行し関係団体へのPRや新規会員の勧誘時等で活用した。 <<今後の課題>> ・環境保全活動の協働の推進(プロジェクトサポーター制度の推進等) ・会員の高齢化による活動力の低下が懸念されるため、市民・事業者・行政の協働による取組を更に推進するとともに若者や事業者を含む新規会員の勧誘を促進する。	・平成30年5月末現在の会員数:150人 (平成29年5月末現在の会員数:135人) ・ながの環境パートナーシップ会議の活動への参画者数 平成18年度: 1,676人 平成19年度: 2,495人 平成20年度: 3,152人 平成21年度: 2,448人 平成22年度: 2,790人 平成23年度: 4,116人 平成24年度: 4,176人 平成25年度: 3,638人 平成26年度: 3,566人 平成27年度: 3,766人 平成28年度: 4,112人 平成29年度: 4,629人	

平成 29 (2017) 年度 活動 報告 書

プロジェクト名		生ごみ削減・再生利用プロジェクト 【リーダー：河西弘明】																																																																																																																																																																																																																																																																								
理想の街	<ul style="list-style-type: none"> 市民一人ひとりが地球環境の悪化を懸念し、ごみの削減・再生利用につとめ、排出量は以前と比べ大幅に減っているまち 地域ごとに多くの市民が生ごみの減量化・再資源化に取り組み有効活用しているまち 生ごみの大半がリサイクルされ、可燃ごみが減少しているまち 																																																																																																																																																																																																																																																																									
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> 可燃ごみに占める生ごみの割合を35%にする。(これまでの約40%から現在は約37%になった) 市が推奨する自家処理(水切り・堆肥化)を地域ごとに取り組み方法として、現在、2つの住民自治協議会との協働を維持できた。 キッズ生ごみ農園クラブの家族会員について入会を目標を10家族とする(6家族にとどまったが関心はあるようだ)。 																																																																																																																																																																																																																																																																									
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ①生ごみ削減・再生利用の啓蒙・啓発キャンペーン活動を各種展示や講習会等によって働きかける(実績:信州環境フェアでは、生ごみ堆肥で育てたシソジュースに人気があった。アモーレフェスタでは、環境部会と協働して展示を行い、他には、キッズ農場で育てた大根の直売が盛況で完売でした。) ②生ごみの自家処理を住民自治協議会に働きかけるとともに市生活環境課とみどりの市民の協力を得て進める(実績:若槻地区は環境部会の協力で生ごみ減量講座と生ごみを出さないお料理教室(キッズ農場で収穫したジャガイモの3レシビ)のセットが好評でした。) ③キッズ生ごみ農園クラブの活動を本格的に開始する。(実績:セブンイレブン記念財団の環境市民活動助成を受けて、農業機器や資材を揃えたことで活動の幅が広がり、生産に結びつくことでメンバーの意欲と自主財源確保に繋がる元ができた。農場では、ジャガイモ、カボチャ、ナス、トマト、キュウリ、大根などを栽培し、生ごみとこれら野菜の交換市を開き、生ごみの再生利用で食の循環を若い親子に周知出来た。収穫祭では、6家族の年会員と浄掃組合の協力で単発参加の親子を120名ほど動員できた。) 																																																																																																																																																																																																																																																																									
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ①住民自治協議会を通じた地域住民への周知 <ul style="list-style-type: none"> 生ごみ堆肥化講座と生ごみ堆肥を利用する講座(実績:若槻地区は春と秋の年2回、安茂里地区では1回実施した) 生ごみ完熟堆肥の作製方法と生ごみ堆肥の使い方としてガーデニング講座、生ごみを出さないお料理教室等を実施。 ②市民への啓発 <ul style="list-style-type: none"> 収穫祭のチラシ1,000部(キッズ生ごみ農園クラブ用)を配布し、農場ではのぼり旗を掲げてアピールする。 生ごみ削減・再生利用の学習用テキストの作成(テキスト作成のため実践中) ③チームミーティングは12回、キッズ生ごみ農園クラブの活動は57回実施、先進地視察として日野市せせらぎ農園見学を実施。 																																																																																																																																																																																																																																																																									
活動実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>日</th> <th>内容</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>6</td><td>2</td><td>除草作業/生ごみ切り返し</td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td>9</td><td>ジャガイモ芽かき/草取り</td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td>12</td><td>定例会</td><td>7</td></tr> <tr><td></td><td>14</td><td>～26日まで草取り</td><td>26</td></tr> <tr><td></td><td>30</td><td>草取り</td><td>2</td></tr> <tr><td>7</td><td>9</td><td>草取り/畝間耕運作業/生ごみ切り返し</td><td>5</td></tr> <tr><td></td><td>11</td><td>定例会</td><td>8</td></tr> <tr><td></td><td>13</td><td>収穫祭案内/ミズコンポスト作製</td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td>20</td><td>ミズコンポスト組立</td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td>22</td><td>収穫祭準備/杭打ち/ベンチ運び</td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td>23</td><td>ジャガイモ掘り/新聞取材あり</td><td>5</td></tr> <tr><td></td><td>29</td><td>信州環境フェア2017(ステージイベント分)</td><td>100</td></tr> <tr><td>8</td><td>1</td><td>草取り/支柱立て/SBCラジオ中継</td><td>5</td></tr> <tr><td></td><td>5</td><td>収穫祭準備/ジャガイモ掘り</td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td>6</td><td>夏の収穫祭</td><td>92</td></tr> <tr><td></td><td>8</td><td>定例会</td><td>10</td></tr> <tr><td></td><td>10</td><td>ミズコンポスト屋根作り/生ごみ切り返し</td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td>12</td><td>草取り/枝豆収穫</td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td>23</td><td>草刈り/耕運/黒小豆収穫</td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td>27</td><td>生ごみと野菜の交換市/軽トラ市</td><td>25</td></tr> <tr><td></td><td>28</td><td>大根の播種/草刈り</td><td>4</td></tr> <tr><td>9</td><td>10</td><td>カボチャ収穫/草刈り/生ごみ切り返し</td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td>11</td><td>一次生成物80投入/黒小豆収穫</td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td>12</td><td>定例会/ミズコンポスト切り返し</td><td>9</td></tr> <tr><td></td><td>20</td><td>サツマイモ収穫</td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td>24</td><td>生ごみと野菜の交換市/軽トラ市</td><td>18</td></tr> <tr><td></td><td>28</td><td>ミズコンポスト届け</td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td>30</td><td>生ごみ減量講座/お料理教室</td><td>23</td></tr> <tr><td>10</td><td>3</td><td>一次生成物投入/生ごみ堆肥切り返し</td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td>10</td><td>定例会</td><td>9</td></tr> <tr><td></td><td>20</td><td>黒小豆と大根収穫/草取り/耕運作業</td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td>22</td><td>生ごみと野菜の交換市/軽トラ市</td><td>27</td></tr> <tr><td></td><td>27</td><td>ゴボウの収穫/草取り3人</td><td>3</td></tr> </tbody> </table>	月	日	内容	人数	6	2	除草作業/生ごみ切り返し	4		9	ジャガイモ芽かき/草取り	4		12	定例会	7		14	～26日まで草取り	26		30	草取り	2	7	9	草取り/畝間耕運作業/生ごみ切り返し	5		11	定例会	8		13	収穫祭案内/ミズコンポスト作製	3		20	ミズコンポスト組立	2		22	収穫祭準備/杭打ち/ベンチ運び	3		23	ジャガイモ掘り/新聞取材あり	5		29	信州環境フェア2017(ステージイベント分)	100	8	1	草取り/支柱立て/SBCラジオ中継	5		5	収穫祭準備/ジャガイモ掘り	4		6	夏の収穫祭	92		8	定例会	10		10	ミズコンポスト屋根作り/生ごみ切り返し	4		12	草取り/枝豆収穫	2		23	草刈り/耕運/黒小豆収穫	4		27	生ごみと野菜の交換市/軽トラ市	25		28	大根の播種/草刈り	4	9	10	カボチャ収穫/草刈り/生ごみ切り返し	3		11	一次生成物80投入/黒小豆収穫	4		12	定例会/ミズコンポスト切り返し	9		20	サツマイモ収穫	2		24	生ごみと野菜の交換市/軽トラ市	18		28	ミズコンポスト届け	1		30	生ごみ減量講座/お料理教室	23	10	3	一次生成物投入/生ごみ堆肥切り返し	2		10	定例会	9		20	黒小豆と大根収穫/草取り/耕運作業	4		22	生ごみと野菜の交換市/軽トラ市	27		27	ゴボウの収穫/草取り3人	3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>日</th> <th>内容</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>11</td><td>3</td><td>大根収穫/耕運作業/生ごみ切り返し</td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td>5</td><td>アモーレフェスタ展示と大根販売</td><td>156</td></tr> <tr><td></td><td>13</td><td>大根の販売/定例会</td><td>12</td></tr> <tr><td></td><td>14</td><td>玉ねぎ植え付け/黒豆と大豆の収穫</td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td>22</td><td>収穫祭準備</td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td>23</td><td>秋の収穫祭/生ごみと野菜の交換市</td><td>52</td></tr> <tr><td></td><td>24</td><td>黒豆ハゼ掛け/大豆脱穀</td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td>26</td><td>耕運作業/軽トラ市</td><td>2</td></tr> <tr><td>12</td><td>5</td><td>黒豆脱穀</td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td>12</td><td>大根収穫/袋詰め/定例会</td><td>12</td></tr> <tr><td></td><td>13</td><td>大根販売</td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td>16</td><td>ながの環境団体大集合に出展</td><td>6</td></tr> <tr><td></td><td>23</td><td>お礼肥え施肥</td><td>1</td></tr> <tr><td>1</td><td>9</td><td>定例会</td><td>7</td></tr> <tr><td></td><td>12</td><td>器具の点検整備</td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td>16</td><td>ミズコンポストの資材確保・17日ワイズ</td><td>13</td></tr> <tr><td></td><td>19</td><td>生ごみ堆肥投入</td><td>2</td></tr> <tr><td>2</td><td>13</td><td>定例会</td><td>9</td></tr> <tr><td></td><td>20</td><td>土壌改良剤(石灰・木灰)撒布</td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td>25</td><td>生ごみ堆肥切り返し</td><td>2</td></tr> <tr><td>3</td><td>2</td><td>野焼き/施肥</td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td>5</td><td>お祝い耕運作業/玉ねぎ施肥</td><td>5</td></tr> <tr><td></td><td>13</td><td>定例会</td><td>9</td></tr> <tr><td></td><td>20</td><td>春野菜の播種25日耕運作業</td><td>3</td></tr> <tr><td>4</td><td>1</td><td>耕運作業</td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td>5</td><td>種ジャガイモ植付け/施肥</td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td>10</td><td>先進地視察/定例会</td><td>9</td></tr> <tr><td></td><td>18</td><td>見学者案内</td><td>8</td></tr> <tr><td></td><td>23</td><td>大根の播種</td><td>3</td></tr> <tr><td>5</td><td>8</td><td>定例会</td><td>10</td></tr> <tr><td></td><td>13</td><td>ジャガイモ芽摘み土寄せ/大根定植</td><td>3</td></tr> </tbody> </table>	月	日	内容	人数	11	3	大根収穫/耕運作業/生ごみ切り返し	3		5	アモーレフェスタ展示と大根販売	156		13	大根の販売/定例会	12		14	玉ねぎ植え付け/黒豆と大豆の収穫	3		22	収穫祭準備	3		23	秋の収穫祭/生ごみと野菜の交換市	52		24	黒豆ハゼ掛け/大豆脱穀	3		26	耕運作業/軽トラ市	2	12	5	黒豆脱穀	3		12	大根収穫/袋詰め/定例会	12		13	大根販売	4		16	ながの環境団体大集合に出展	6		23	お礼肥え施肥	1	1	9	定例会	7		12	器具の点検整備	1		16	ミズコンポストの資材確保・17日ワイズ	13		19	生ごみ堆肥投入	2	2	13	定例会	9		20	土壌改良剤(石灰・木灰)撒布	3		25	生ごみ堆肥切り返し	2	3	2	野焼き/施肥	1		5	お祝い耕運作業/玉ねぎ施肥	5		13	定例会	9		20	春野菜の播種25日耕運作業	3	4	1	耕運作業	3		5	種ジャガイモ植付け/施肥	4		10	先進地視察/定例会	9		18	見学者案内	8		23	大根の播種	3	5	8	定例会	10		13	ジャガイモ芽摘み土寄せ/大根定植	3
月	日	内容	人数																																																																																																																																																																																																																																																																							
6	2	除草作業/生ごみ切り返し	4																																																																																																																																																																																																																																																																							
	9	ジャガイモ芽かき/草取り	4																																																																																																																																																																																																																																																																							
	12	定例会	7																																																																																																																																																																																																																																																																							
	14	～26日まで草取り	26																																																																																																																																																																																																																																																																							
	30	草取り	2																																																																																																																																																																																																																																																																							
7	9	草取り/畝間耕運作業/生ごみ切り返し	5																																																																																																																																																																																																																																																																							
	11	定例会	8																																																																																																																																																																																																																																																																							
	13	収穫祭案内/ミズコンポスト作製	3																																																																																																																																																																																																																																																																							
	20	ミズコンポスト組立	2																																																																																																																																																																																																																																																																							
	22	収穫祭準備/杭打ち/ベンチ運び	3																																																																																																																																																																																																																																																																							
	23	ジャガイモ掘り/新聞取材あり	5																																																																																																																																																																																																																																																																							
	29	信州環境フェア2017(ステージイベント分)	100																																																																																																																																																																																																																																																																							
8	1	草取り/支柱立て/SBCラジオ中継	5																																																																																																																																																																																																																																																																							
	5	収穫祭準備/ジャガイモ掘り	4																																																																																																																																																																																																																																																																							
	6	夏の収穫祭	92																																																																																																																																																																																																																																																																							
	8	定例会	10																																																																																																																																																																																																																																																																							
	10	ミズコンポスト屋根作り/生ごみ切り返し	4																																																																																																																																																																																																																																																																							
	12	草取り/枝豆収穫	2																																																																																																																																																																																																																																																																							
	23	草刈り/耕運/黒小豆収穫	4																																																																																																																																																																																																																																																																							
	27	生ごみと野菜の交換市/軽トラ市	25																																																																																																																																																																																																																																																																							
	28	大根の播種/草刈り	4																																																																																																																																																																																																																																																																							
9	10	カボチャ収穫/草刈り/生ごみ切り返し	3																																																																																																																																																																																																																																																																							
	11	一次生成物80投入/黒小豆収穫	4																																																																																																																																																																																																																																																																							
	12	定例会/ミズコンポスト切り返し	9																																																																																																																																																																																																																																																																							
	20	サツマイモ収穫	2																																																																																																																																																																																																																																																																							
	24	生ごみと野菜の交換市/軽トラ市	18																																																																																																																																																																																																																																																																							
	28	ミズコンポスト届け	1																																																																																																																																																																																																																																																																							
	30	生ごみ減量講座/お料理教室	23																																																																																																																																																																																																																																																																							
10	3	一次生成物投入/生ごみ堆肥切り返し	2																																																																																																																																																																																																																																																																							
	10	定例会	9																																																																																																																																																																																																																																																																							
	20	黒小豆と大根収穫/草取り/耕運作業	4																																																																																																																																																																																																																																																																							
	22	生ごみと野菜の交換市/軽トラ市	27																																																																																																																																																																																																																																																																							
	27	ゴボウの収穫/草取り3人	3																																																																																																																																																																																																																																																																							
月	日	内容	人数																																																																																																																																																																																																																																																																							
11	3	大根収穫/耕運作業/生ごみ切り返し	3																																																																																																																																																																																																																																																																							
	5	アモーレフェスタ展示と大根販売	156																																																																																																																																																																																																																																																																							
	13	大根の販売/定例会	12																																																																																																																																																																																																																																																																							
	14	玉ねぎ植え付け/黒豆と大豆の収穫	3																																																																																																																																																																																																																																																																							
	22	収穫祭準備	3																																																																																																																																																																																																																																																																							
	23	秋の収穫祭/生ごみと野菜の交換市	52																																																																																																																																																																																																																																																																							
	24	黒豆ハゼ掛け/大豆脱穀	3																																																																																																																																																																																																																																																																							
	26	耕運作業/軽トラ市	2																																																																																																																																																																																																																																																																							
12	5	黒豆脱穀	3																																																																																																																																																																																																																																																																							
	12	大根収穫/袋詰め/定例会	12																																																																																																																																																																																																																																																																							
	13	大根販売	4																																																																																																																																																																																																																																																																							
	16	ながの環境団体大集合に出展	6																																																																																																																																																																																																																																																																							
	23	お礼肥え施肥	1																																																																																																																																																																																																																																																																							
1	9	定例会	7																																																																																																																																																																																																																																																																							
	12	器具の点検整備	1																																																																																																																																																																																																																																																																							
	16	ミズコンポストの資材確保・17日ワイズ	13																																																																																																																																																																																																																																																																							
	19	生ごみ堆肥投入	2																																																																																																																																																																																																																																																																							
2	13	定例会	9																																																																																																																																																																																																																																																																							
	20	土壌改良剤(石灰・木灰)撒布	3																																																																																																																																																																																																																																																																							
	25	生ごみ堆肥切り返し	2																																																																																																																																																																																																																																																																							
3	2	野焼き/施肥	1																																																																																																																																																																																																																																																																							
	5	お祝い耕運作業/玉ねぎ施肥	5																																																																																																																																																																																																																																																																							
	13	定例会	9																																																																																																																																																																																																																																																																							
	20	春野菜の播種25日耕運作業	3																																																																																																																																																																																																																																																																							
4	1	耕運作業	3																																																																																																																																																																																																																																																																							
	5	種ジャガイモ植付け/施肥	4																																																																																																																																																																																																																																																																							
	10	先進地視察/定例会	9																																																																																																																																																																																																																																																																							
	18	見学者案内	8																																																																																																																																																																																																																																																																							
	23	大根の播種	3																																																																																																																																																																																																																																																																							
5	8	定例会	10																																																																																																																																																																																																																																																																							
	13	ジャガイモ芽摘み土寄せ/大根定植	3																																																																																																																																																																																																																																																																							
成果	一年間の活動・参加者数		779																																																																																																																																																																																																																																																																							
課題	<p>〈活動の成果・課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> キッズ生ごみ農園クラブの活動2年目で動員数が増えてきた。特に収穫祭では、浄掃組合のご家族の参加で盛り上がった。キッズ生ごみ農園で生ごみの堆肥を利用した野菜を収穫し、生ごみと野菜の交換市を開催したほか、朝市で販売できた。その結果、6家族が入会した。 啓蒙啓蒙活動としてイベントに参加した(信州環境フェアにて展示・クイズ・生ごみ教室等 / アモーレフェスタにて展示・販売など)。 生ごみ堆肥化のキャラバン隊活動を安茂里地区・若槻地区で実施(維持)した。 住民自治協議会が主催する生ごみ減量講座等に参画し、啓蒙活動を実施した。 チームの活動パンフレット・キッズ生ごみ農園クラブのチラシ・生ごみと野菜の交換市のチラシを配布し、啓蒙宣伝活動に活かした。 <p>〈活動の課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 啓蒙啓蒙活動としてイベントに参加(信州環境フェアにて展示・クイズ・生ごみ教室等 / アモーレフェスタにて展示・クイズなど)すると共に生ごみ堆肥の再生利用を大根の販売で注目させた。今後は生ごみの回収をしたいと考えるがその方法が課題である。 キッズ生ごみ農園クラブの隊員募集として農場見学の機会を増やす必要がある。 																																																																																																																																																																																																																																																																									

平成 29 (2017) 年度 活動 報告 書

プロジェクト名

レジ袋使用削減プロジェクトチーム【渡辺ヒデ子】

理想の街	レジ袋の使用を減らし、買い物袋(マイバッグ)を持参する意識を定着させることにより、ごみ減量に対して市民が主体的に行動し、資源を大切にしているまち。							
数値目標	マイバッグ持参率を80%以上とする。							
行動計画	①多くの団体と連携を取りながら、レジ袋無料配布中止に向けて取り組む。 ●協力事業者との連携 ●県長野地域振興局と連携 ●小規模店舗への推進(対象の検討、働きかけ) ●市民団体との意見交換会 ②レジ袋使用削減の意識啓発を進める。 ●店頭啓発の継続(啓発用グッズの確認作成、10月強化キャンペーン) ●イベントでの意識啓発 ●持参率調査 ●協力市民団体の拡大 ●地域商店会との連携(啓発ステッカー等の配布) ●協力小売店にステッカーを配布 ③環境学習の推進 ●マイバッグフェスタの開催 ●学校等に配布する環境学習啓発用パンフレットの作成							
活動計画	前年度の懇談会等から見えてきた課題を整理し、従来からの事業や新規事業に生かしていく。 ●毎月5日のキャンペーン(10月強化キャンペーン) ●持参率調査 ●協力事業者との連携 ●県長野地域振興局との連携 ●協力小売店ステッカー・のぼり旗の作成配布 ●善光寺表参道秋祭りの歩行者天国においてマイバッグ持参のPR ●啓発パンフレットを作成し、新たな啓発のツールとして幅広い利用を模索							
活動実績	日	内容		人数	日	内容		人数
	6	14	PTミーティング	6	6	13	市民団体意見交換会	9
	7	12	PTミーティング	4	7	30	信州環境フェア出展	10
	7	26	PTミーティング	5	12	16	環境団体大集合/マイバッグフェスタ	8
	8	30	PTミーティング	7			ノーレジ袋デー・啓発キャンペーン	110
	9	20	PTミーティング	6			(10月のキャンペーン含む)	
	10	25	PTミーティング	4	3	15,16	マイバッグ持参率調査	20
	11	15	PTミーティング	3				
	1	11	PTミーティング	4				
	4	11	PTミーティング	5				
	5	9	PTミーティング	4				
績	一年間の活動・参加者数							205
成果課題	≪活動の成果≫ ・マイバッグ持参率が3年連続で60%を超えた(60.3%)。しかし、昨年度(65.5%)を下回った。 ・ながの環境団体大集合にて「マイバッグふえすた」を開催し、手作りマイバッグコンテストでは例年通り、多くの申し込みがあり、市民にマイバッグをPRする貴重な機会となった。 ・啓発用パンフレットが完成し、新たな啓発用ツールが加わった。長野市内の市立小学校に全校配布を行った。 ・信州大学工学部の地域環境演習の学生5名を受け入れ、若い世代の感覚での取り組みをチームの活動に反映させることができた。 ≪今後の課題≫ ・3月のマイバッグ持参率調査の結果は、60.3%であるが、当チームの目標である80%を目指して、引き続き啓発が必要である。又、使い捨て容器包装プラスチックであるレジ袋の環境への影響を多くの市民に啓発することが必要である。							

平成 29 (2017) 年度 活動 報告 書

プロジェクト名

市民の森づくりプロジェクト【リーダー:片桐勝治】

理想の街	四方を山に囲まれた長野市には手入れされた里山があり、そこには多様な動植物が暮らす豊かな森がある。人々はこの里山を利用し、楽しみ、未来につなげる自然の大切さについて学ぶことができるまち							
数値目標	前年以上の市民、他団体との連携を図る。 市民の森づくりに700人以上の参加者を得る。 市民の森の候補地を2箇所以上選定する。							
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・里山に関する市民の理解を深め、多くの人に参加してもらおうことを考え、森林整備、林業講座、自然観察会、山遊び、学習会など多様性に富んだ活動を行うため、検討を重ねる。 ・里山の大切さや山の恵みを利用する楽しさを実感できる「市民の森」を市内に複数設置するための候補地を探す(地元住民との交流を図る)。 ・多くの他団体や個人、事業者との連携を図る。 							
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備(6~11月、4、5月) ・趣味の林業講座(6~8月) ・秋の里山散策(10月21日) ・中高生の森林整備体験、自然観察(7月、8月、10月) ・里山遊び(かんじき体験)(2月25日) ・きのこの駒打ち体験(4月21日) ・仮称第二の市民の森候補地の実施計画立案 ・事業者、他団体との協力、連携を図る 							
活動実績	月	日	内容	人数	月	日	内容	人数
	6	10	森林整備作業	6	10	11	北部高校の森林整備体験	26
		11	市民の森総会	16		14	森林整備作業	3
		17	長野市環境学習会	65		21	秋の里山散策	8
		18	林業講座(TV取材者含む)	32		22	ながの環境こどもサミットへ参加	7
			定例作業日以外の整備	21		25	定例会議	4
	7	2	林業講座(TV取材者含む)	32			定例作業日以外の整備	22
		8	森林整備作業	4	11	2	実験林ワークショップ	5
		17	成城中学校の森林整備体験	128		11	善光寺の森整備作業へ参加	6
		23	林業講座	21		26	森林整備作業	15
		25	定例会議	7		29	定例会議	6
		30	信州環境フェア2017	6			定例作業日以外の整備	7
			定例作業日以外の整備	25	12	5	定例会議	10
	8	6	林業講座	27		16	ながの環境団体大集合へ参加	5
		11	山の日ウォーキング	9	2	25	かんじき体験会	14
		20	林業講座	26		28	定例会議	8
		27	森林整備作業	5	3	29	定例会議	4
	29	定例会議	5	4	14	森林整備作業(駒打ち準備)	6	
		定例作業日以外の整備	23		21	きのこの駒打ち体験会	29	
9	9	森林整備作業	5		26	定例会議	9	
	23	森づくりワークショップ	14			定例作業日以外の整備	12	
	27	定例会議	9	5	12,27	森林整備作業	18	
		定例作業日以外の整備	20		30	定例会議	10	
一年間の活動・参加者数								740
成果課題	<p>《活動の成果》 本年度は中学生、高校生の森林整備体験や山の日ウォーキングの自然観察会等の新たな活動を実施した。第二の市民の森選定作業は進まなかったが、「あさかわの里山と森を守る会」との合同作業など地元の方々とのつながりを進める活動ができた。本年度の活動参加者は、山の日ウォーキング、環境学習会等大勢の方の参加活動の機会も増えたこともあり、年間700名を超える結果となった。活動実日数は増加傾向にあり活動の更なる広がりを感じた。</p> <p>《今後の課題》 本年度、新規加入者もあり、更なる活動の広がりを感じさせる。活動の多様性を考えると会員数の増加は必要である。他のチームなどとも協力し、体験会なども活用の上、活動の輪を広げていきたい。</p>							

平成 29 (2017) 年度 活動報告書								
プロジェクト名		太陽エネルギー普及促進プロジェクト 【リーダー: 田中 昭】						
理想の街	資源を大切にし、再生可能エネルギーである太陽光を活用した、地球環境保全に配慮した持続可能で活力あるまち							
数値目標	太陽光発電の有効性や活用方法の知識を習得し、これらを啓発していくことにより、新規太陽光発電施設設置の推進に寄与する。新規設置数1, 200戸。							
行動計画	①環境にやさしい無限の太陽エネルギーについて啓発する。 ②先進技術の取組を学ぶ。							
活動計画	①太陽エネルギー利用の普及につながるイベントを開催する。 ②地域で太陽エネルギーの利用に取り組む先進地を視察し、メンバーの知見を深めるとともに、長野市における利用促進のためのヒントを得る。 ③太陽エネルギーの有用性を広く市民に伝える。							
活動実績	月	日	内容	人数	月	日	内容	人数
	6	13	千葉県いすみ市視察キクラゲソーラーシェアリング	2				
	8	11	山の日ウォーキング (P会議共催) 天候不順のため不参加	0				
	9	7	ながの環境フェアに不参加	0				
	10	5	川中島自治会フェスに参加	30				
	10	28	エコーンファミリー「夢祭り」曇り中止	0				
	12	16	ながの環境団体大集合	5				
	3	24	若槻田中地区の里山づくりイベント参加	50				
	5	23	チーム会 (ソーラーシェアリング事業の検討)	8				
		一年間の活動・参加者数						95
成果・課題	<<活動の成果・課題>> ・雨天により3回もイベントに参加できなかった。 ・今後、一般社団法人田中里山づくり里おこし事業会と連携しながら長野市でソーラーシェアリングの課題を勉強し更に推進を図りたい。 ・今後の課題は、やはりメンバーが少なく人数の確保、若返りを図りたい。 ・単なるイベントの参加だけでなく、確実に太陽エネルギー利用の人数を増やす方法にしたい。							

平成 29 (2017) 年 度 活 動 報 告 書

プロジェクト名

子どもの環境学習支援プロジェクト 【リーダー:渡辺隆一】

理想の街	こどもエコクラブで主に小学生が親と一緒に活動し、中高生になったら「ユースクラブ」で自主的に環境活動を行い、環境団体との連携も図られているまち							
数値目標	第6回国際ユース環境会議の参加者50名							
行動計画	第6回国際ユース環境会議を開催し、環境団体との連携を図る。							
活動計画	第6回国際ユース環境会議開催のための活動 ・開催要項の作成、後援依頼 ・現地下見、 ・チラシ作成、配布 ・報告書作成、送付など							
活動実績	月	日	内容	人数	月	日	内容	人数
	6	12	例会	9	4	17	信大工学部にて地域演習説明会	4
		21	FM善光寺にて国際ユースの広報	1	5	7	例会	5
		28	教育学部にてユース会議最終打ち合わせ	5				
		30	国際ユース環境会議開始～7月2日	75				
	7	7	反省会	6				
	9	4	報告書作成打ち合わせ	3				
		14	P会議合同会議	2				
		23	信大工学部にて報告会	12				
	10	30	例会	6				
	11	16	P会議合同会議	2				
		30	報告書印刷	3				
	12	16	ながの環境団体大集合にて発表等	5				
	1	15	例会(次年度計画)	5				
	3	5	例会(次年度計画)	6				
4	16	例会(次年度計画)	4					
一年間の活動・参加者数							149	
成果課題	<活動の成果・課題> 1 成果 ア 2017年6月に2泊3日の日程で、国際ユース環境会議を小田切練成センターにて開催した。25名のユースの参加を得、「フードロス」をテーマに小田切地域の自然や生活について学び、考えた。4か国の外国籍ユース等と英語によりコミュニケーションを図ることで、ユースの視野の拡大を図れた。 イ 長野県環境保全協会や㈱ミールケア、NPOみどりの市民などいくつかの環境団体との連携および協力関係を構築することができた。参加者間のLINEやfacebook及びメーリングリストを用いたコミュニケーションを構築し、次回の国際ユース環境会議の企画への参画の端緒を築くことができた。 ウ 実施成果を、2017年度のP会議「ながの環境団体大集合」で発表し、広報できた。 2 課題:国際ユース環境会議(年次イベント)の開催、メーリングリスト等枠組みは設定できたが、ユースの自主的な活動の喚起にはいまだ至っていない。支援する大人のメンバーが不足するなか、長期的な視点での人材と支援組織を探し確保したい。							

平成 29 (2017) 年度 活動 報告 書

プロジェクト名

小生物の育成環境保全プロジェクト【リーダー:杉山茂樹】

理想の街 身近な自然環境を守り後世に残すため、里山の小生物(オオムラサキ・カブトムシワガタ)などの生育環境を再生し松代に自生するエドヒガン・野生モモが咲く豊かな自然環境の保全を目指す。オオムラサキ含めジャコウアゲハ・アゲハチョウ・キアゲハチョウ・アサギマダラなどが自然に舞う環境の構築に努め啓発活動を進める。

数値目標 小中学校の総合学習・コミュニティスクールの中で学習会・観察会の要望に基づき、随時開催する。市民及び近くの保育園対象の観察会を実施する(年間述べ参加人員500名を目標に進める)。エドヒガンを松代地区全公共施設をはじめ、各学校の枯死寸前のソメイヨシノから更新し植栽して行く。

行動計画 オオムラサキを身近で随時観察できるよう飼育舎を設置し、子供たちに本物のオオムラサキを見せる環境づくりを行う。オオムラサキだけでなくジャコウアゲハ・キアゲハ・アゲハチョウ・アサギマダラの食草をさらに補植し安定的な発生を試みる。エドヒガン育苗事業(今年で4年目)については、区長会に提案したところ、約400本ほどの提供要請があったため、3月に各区長に頒布していく。豊栄小学校創立140周年記念植樹は全面的に組織をあげて協力していく。

活動計画 ・オオムラサキ繁殖地内に設置した飼育舎中心に安定的な発生を試みて、自然観察会の内容充実を図る。
・竹ノ入地籍に自生してるエドヒガン鑑賞会を実施し広く市民に呼び掛け認知してもらおう。
・保育園児たちなどが安心・安全に入れるよう環境整備に努める(遊歩道を設置するなど17本ある桜の観察路を検討して行く)。

活 動 実 績	月 日 内容 人数			月 日 内容 人数				
		6	11	P会議総会	4	12	16	ながの環境団体大集合出展
	6	11	P会議総会打合せまち歩きセンター	10	12	18	善光寺エドヒガン植栽打合せ	5
	6	13	東条小学校観察会打合せ	3	12	21	フジハカマ草取り活動反省会	22
	6	15	竹ノ入り草刈	10	1	9	エドヒガン区長会提案打合せ	10
	6	18	P会議総会まち歩きセンター	20	1	19	エドヒガン区長会提案説明	8
	6	19	エドヒガン育苗地草取り	9	1	21	竹ノ入り整備作業	4
	6	27	オオムラサキ観察会会員対象	11	2	17	エドヒガン接ぎ穂採取作業	5
	6	30	青木村オオムラサキ取り組み地視察	12	2	24	オオムラサキ飼育舎設置作業	7
	7	1	須坂市共生の森視察	2	3	1	オオムラサキ飼育舎設置作業	5
	7	2	市民対象のオオムラサキ・メダカ観察会	80	3	3	竹ノ入り除伐作業	4
	7	6	豊栄小学校観察会	23	3	4	エドヒガン階段設置作業	2
	7	10	東条小学校観察会	89	3	6	除伐材搬出作業	3
	7	14	竹ノ入り入口看板設置打合	6	3	13	エドヒガン階段設置作業	4
	7	22	エドヒガン育苗地草取り	11	3	21	善光寺奉納苗掘り起こし作業	13
	7	29	松代城エドヒガン植栽打合(市文化財)	6	3	22	善光寺奉納苗植栽作業	8
	8	3	活動経過の反省会	10	3	23	竹ノ入り保全ガイドライン会議	28
	9	2	エドヒガン育苗地草取り	15	3	24	竹ノ入り整備作業	3
	10	5	竹ノ入りフジハカマ草取り	11	3	28	エドヒガン掘り起こし作業	26
	10	20	観察路設置検討会	6	4	4	エドヒガン接ぎ木作業	11
	10	28	エドヒガン移植作業	9	4	7	エドヒガン鑑賞会	33
	11	24	オオムラサキ越冬幼虫調査	27	4	21	豊栄小学校エドヒガン植栽	120
	11	30	県環境保全研調査と勉強会	11	5	1	フジハカマ植栽地草取りシニア他	14
	一年間の活動・参加者数						732	

成果課題 <<活動の成果・課題>>
オオムラサキは越冬幼虫調査の結果多くの幼虫が確認できました。冬の厳しい環境を無事越せば今年には多くの発生が期待できます。昆虫写真家栗田貞多男氏(信毎出版局からオオムラサキの生態を刊行)された方の提案を受け空間づくりの作業をしてまいりました。大変な作業でしたが里山は常に人為的な管理をしなければすぐにジャングルに変身します。今回手作りの飼育舎(農業用パイプハウス)を会員のご寄付により作る事ができました。小学校等の観察会に活用できるよう最善を尽くしていきます。併せて洗濯袋飼育も同時並行で進めて行きます。結果が楽しみです。
また、松代1,000本桜大作戦に伴う苗の育苗を含め指導者の八田幸三氏(元林業試験所勤務)の指導により順調に進めてきました。苗の生長も身の丈ほどになり定植することができるまでになりました。平成30年1月の区長会に提案した結果、ご賛同を得ました約400本のエドヒガンを各区の植樹に合わせ3月28日に頒布しました。会員の皆様の尽力により実が結ぶことになり心より成功することを祈念しています。

平成 29 (2017) 年度 活動 報告 書

プロジェクト名	ぼんすけ育成プロジェクト 【リーダー:小林和子】																																																																																																																					
理想の街	里山に生息する絶滅危惧種の多くは、市街地の開発された平野部に生息していた身近な生き物であった。つまり、開発によって生息場所を追われ、里山にかろうじて生き残っているといえる。過疎の進行した里山で絶滅危惧種の保全の問題を解決することは難しい。ぼんすけ(シナイモツゴ)をシンボルとして、里山の役割と現状を市街地住民にも知ってもらい、里山と市街地の市民が保全目標を共有できる街にしたい。																																																																																																																					
数値目標	1 シナイモツゴの生息場所であるため池の環境保全活動を実施する。 2 地元の児童生徒や市民を対象としたシナイモツゴ観察会を開催し、ため池に生息する生き物を観察する。また、会員のスキル向上を目指すため勉強会(講演会)を開く。 3 ぼんすけのネーミングを活用した信里地域の農産物をブランド化し販売する。 (目標数値:観察会等の参加者数160名 会員数40名)																																																																																																																					
行動計画	1 シナイモツゴの生息場所であるため池の環境保全活動を実施する。 2 地元の児童生徒や市民を対象としたシナイモツゴ観察会(秋と春)を開催し、ため池に生息する生き物を観察する。また、会員のスキル向上を目指すため勉強会を開く。 3 里山の保全を目的にプロジェクトチーム自ら稲作とリンゴの栽培を開始する。 4 ぼんすけのネーミングを活用した信里地域の農産物をブランド化し販売する(ぼんすけ米・ぼんすけ林檎)。 5 チームの活動拠点場所であるぼんすけ小屋を設置する。																																																																																																																					
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・生息地の環境保全活動の実施 ・活動拠点箇所を設置する。 ・春、秋の自然観察会を開催 ・所属会員の自己研鑽のため、視察研修及び講演会を開催する。 ・稲作と林檎の栽培を実施することで、ぼんすけの保護＝里山の保全(荒廃農地の再生)を図る。また、収穫されたお米と林檎を販売し、その収益を保全活動に役立てる。 ・毎月定例会を開催(毎月第3水曜日13:30～信里合同庁舎、会の運営・企画立案・ため池調査報告・情報交換等) 																																																																																																																					
活動実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>日</th> <th>内容</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>6</td><td>5・6</td><td>ぼんすけ田圃田植え・ぼんすけ小屋竣工式</td><td>18</td></tr> <tr><td>6</td><td>18</td><td>自然観察会・定例会</td><td>32</td></tr> <tr><td>7</td><td>8・9</td><td>ぼんすけ小屋のペンキ塗り</td><td>7</td></tr> <tr><td>7</td><td>16</td><td>信里地区区長会へ活動説明</td><td>4</td></tr> <tr><td>7</td><td>19</td><td>ぼんすけ田圃の畔草刈・定例会</td><td>19</td></tr> <tr><td>7</td><td>29・30</td><td>信州環境フェア出展</td><td>2</td></tr> <tr><td>8</td><td>23・24</td><td>研修視察(栄村・松之山・柏崎)</td><td>12</td></tr> <tr><td>9</td><td>20</td><td>ぼんすけ田圃畔草刈・定例会</td><td>12</td></tr> <tr><td>9</td><td>25</td><td>自然観察会(信里小児童対象)</td><td>25</td></tr> <tr><td>9/30～10/2</td><td></td><td>ぼんすけ田圃稲刈り・ビオトープづくり等</td><td>43</td></tr> <tr><td>10</td><td>14・15</td><td>茶臼山動物園出展</td><td>9</td></tr> <tr><td>10</td><td>18</td><td>ぼんすけ林檎葉摘み・定例会</td><td>8</td></tr> <tr><td>10</td><td>29</td><td>林檎とお米の販売(だいあん祭)</td><td>2</td></tr> <tr><td>11</td><td>3</td><td>ぼんすけ田圃脱穀</td><td>6</td></tr> <tr><td>11</td><td>15</td><td>定例会</td><td>12</td></tr> </tbody> </table>	月	日	内容	人数	6	5・6	ぼんすけ田圃田植え・ぼんすけ小屋竣工式	18	6	18	自然観察会・定例会	32	7	8・9	ぼんすけ小屋のペンキ塗り	7	7	16	信里地区区長会へ活動説明	4	7	19	ぼんすけ田圃の畔草刈・定例会	19	7	29・30	信州環境フェア出展	2	8	23・24	研修視察(栄村・松之山・柏崎)	12	9	20	ぼんすけ田圃畔草刈・定例会	12	9	25	自然観察会(信里小児童対象)	25	9/30～10/2		ぼんすけ田圃稲刈り・ビオトープづくり等	43	10	14・15	茶臼山動物園出展	9	10	18	ぼんすけ林檎葉摘み・定例会	8	10	29	林檎とお米の販売(だいあん祭)	2	11	3	ぼんすけ田圃脱穀	6	11	15	定例会	12	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>日</th> <th>内容</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>11</td><td>28</td><td>ぼんすけ林檎収穫</td><td>5</td></tr> <tr><td>12/14～12/16</td><td></td><td>ため池のかいぼり作業</td><td>30</td></tr> <tr><td>12</td><td>16</td><td>ながの環境団体大集合に出展</td><td>1</td></tr> <tr><td>12</td><td>14</td><td>新嘗祭</td><td>25</td></tr> <tr><td>12</td><td>20</td><td>定例会</td><td>10</td></tr> <tr><td>1</td><td>24</td><td>講演会・定例会</td><td>15</td></tr> <tr><td>2</td><td>22</td><td>定例会</td><td>8</td></tr> <tr><td>3</td><td>20</td><td>定例会</td><td>7</td></tr> <tr><td>4</td><td>18</td><td>ぼんすけ育成会総会</td><td>12</td></tr> <tr><td>5</td><td>15</td><td>ぼんすけ看板(県が設置)立会</td><td>5</td></tr> <tr><td>5</td><td>18</td><td>田圃の草刈作業及び定例会</td><td>12</td></tr> <tr><td>5</td><td>29</td><td>ぼんすけ田圃田植え</td><td>10</td></tr> </tbody> </table>	月	日	内容	人数	11	28	ぼんすけ林檎収穫	5	12/14～12/16		ため池のかいぼり作業	30	12	16	ながの環境団体大集合に出展	1	12	14	新嘗祭	25	12	20	定例会	10	1	24	講演会・定例会	15	2	22	定例会	8	3	20	定例会	7	4	18	ぼんすけ育成会総会	12	5	15	ぼんすけ看板(県が設置)立会	5	5	18	田圃の草刈作業及び定例会	12	5	29	ぼんすけ田圃田植え	10
月	日	内容	人数																																																																																																																			
6	5・6	ぼんすけ田圃田植え・ぼんすけ小屋竣工式	18																																																																																																																			
6	18	自然観察会・定例会	32																																																																																																																			
7	8・9	ぼんすけ小屋のペンキ塗り	7																																																																																																																			
7	16	信里地区区長会へ活動説明	4																																																																																																																			
7	19	ぼんすけ田圃の畔草刈・定例会	19																																																																																																																			
7	29・30	信州環境フェア出展	2																																																																																																																			
8	23・24	研修視察(栄村・松之山・柏崎)	12																																																																																																																			
9	20	ぼんすけ田圃畔草刈・定例会	12																																																																																																																			
9	25	自然観察会(信里小児童対象)	25																																																																																																																			
9/30～10/2		ぼんすけ田圃稲刈り・ビオトープづくり等	43																																																																																																																			
10	14・15	茶臼山動物園出展	9																																																																																																																			
10	18	ぼんすけ林檎葉摘み・定例会	8																																																																																																																			
10	29	林檎とお米の販売(だいあん祭)	2																																																																																																																			
11	3	ぼんすけ田圃脱穀	6																																																																																																																			
11	15	定例会	12																																																																																																																			
月	日	内容	人数																																																																																																																			
11	28	ぼんすけ林檎収穫	5																																																																																																																			
12/14～12/16		ため池のかいぼり作業	30																																																																																																																			
12	16	ながの環境団体大集合に出展	1																																																																																																																			
12	14	新嘗祭	25																																																																																																																			
12	20	定例会	10																																																																																																																			
1	24	講演会・定例会	15																																																																																																																			
2	22	定例会	8																																																																																																																			
3	20	定例会	7																																																																																																																			
4	18	ぼんすけ育成会総会	12																																																																																																																			
5	15	ぼんすけ看板(県が設置)立会	5																																																																																																																			
5	18	田圃の草刈作業及び定例会	12																																																																																																																			
5	29	ぼんすけ田圃田植え	10																																																																																																																			
一年間の活動・参加者数			351																																																																																																																			
成果・課題	<p>《活動の成果》 近年、少子高齢化や農業離れによって、ため池の荒廃が進み、ぼんすけ達の住処がどんどん減ってきている状況の中、ぼんすけ育成PTでは、里山の保全等を目的に自ら稲作と林檎栽培を実施し、「ぼんすけブランド」として販売した。また、他団体等との協働によるため池の保全活動を行うなどぼんすけを含む里山の保全活動が展開できた。</p> <p>《今後の課題》 ・来期も同事業を継続し、いい自然を守る～シナイモツゴも人もうれしい～そんな共生と呼ばれるような環境保全を目指していく。 ・ため池の荒廃を防ぎ、収益を保全活動に役立てようと販売を開始したぼんすけ米の価格を検討する。</p>																																																																																																																					

平成 29 (2017) 年度 活動 報告 書

プロジェクト名

ゴマシジミ保護・育成プロジェクト (浅川地区住民自治協議会)

理想の街

「ふるさと創生」活動の一環として地区内住民の意識の高揚とボランティア参加の醸成を図り浅川の特徴である中山間地と平野部の融合を徐々に深め、また子ども達からお年寄りまでの交流を図り次世代への財産として繋がればと考えている。まちづくり計画に位置している「ゴマシジミの保護・育成」を通して里山の整備、自然環境の保全の大切さを学んでいければと継続的な活動を行う。

数値目標

- 1) 小・中学生を含め地元愛好家・ボランティア組織の参加を仰ぎ年間延べ200名位を目安に活動を行う。
- 2) 生息地の植栽(ワレモコウ)を延100名位で行う。
- 3) 生息地のパトロールを7月25日から8月末まで巡回監視パトロールを行う。(延80名)
- 4) 生息地に防犯カメラの設置(約18,000円)

行動計画

- ・他動植物との関連
- ・シワクシケアリの発見
- ・ワレモコウの発芽と植栽

活動計画

ワレモコウの栽培(現地採取の種をまき栽培)4月中旬
 生息地の草刈り間伐(年間4回)
 生息地のパトロール(ローテーションによる)「7月末～9月中旬」

活動実績

月	日	内容	人数	月	日	内容	人数
6	2	草刈り・間伐	13				
6	16	草刈り・間伐	13				
6	中旬	研究会(有識者4名)	15				
7	14	防犯カメラ設置予定	5				
7	28	～8月末 監視パトロール開始	80				
8	上旬	ゴマシジミ説明会	6				
9	27	浅川小学校勉強会	80				
10	上旬	草刈り・間伐	13				
11	中旬	紙芝居上演(ゆうわ祭・文化祭等)	6				
11	下旬	ワレモコウ種子採取	5				
2	22	チーム会議	8				
3	14	年間予定会議	7				
4	12	ワレモコウ発芽の準備(種まき)	3				
5	12	フジバカマ植栽	25				
一年間の活動・参加者数							279

成果・課題

《活動の成果・課題》
 現在の生息数が少ないため(発生・年数十匹)取り敢えず現状維持に傾注し生息環境の観察とゴマシジミの生態系の研究に取り組み将来への布石としたい。また地元の資産として子供から大人まで感心をもってもらい継続性のある活動を目指したい。

平成29(2017)年度 ながの環境パートナーシップ会議 収支決算書

収入合計	1,575,770 円
支出合計	1,366,351 円
差引額	209,419 円

収入

単位:円

内 容	29年度予算額	流用額	予算現額	収入済額	収入済額-予算現額	内 訳
I 負担金・会費	1,069,000		1,069,000	1,075,000	6,000	
1 負担金・会費	1,069,000		1,069,000	1,075,000	6,000	市負担金100万円 会員会費500円×150名
II 事業収入等	67,737		67,737	187,507	119,770	
1 事業収入	7,500		7,500	130,000	122,500	活動成果報告書広告料、豊かな環 境づくり地域活動支援事業交付金
2 雑収入	60,237		60,237	57,507	△ 2,730	寄附金・預金利息
III 繰越金	313,263		313,263	313,263	0	
1 繰越金	313,263		313,263	313,263	0	前年度繰越金
合 計	1,450,000	0	1,450,000	1,575,770	125,770	

支出

単位:円

内 容	29年度予算額	流用額	予算現額	支出済額	予算現額-支出済額	内 訳
I 活動費	90,000	-29,000	61,000	59,755	1,245	
1 自主事業活動費	35,000	-33,000	2,000	1,400	600	ながの環境団体大集合関連経費
2 共催・参加事業活動費	55,000	4,000	59,000	58,355	645	遷州環境フェア、山の日ウォーキングの関連 経費、ライトダウンキャンペーン負担金
II プロジェクト活動費	886,000	-38,000	924,000	896,396	27,604	
1 生ごみ削減・再生利用	60,000	133,000	193,000	192,147	853	キッズ農園運営費、啓発活動費等
2 レジ袋使用削減	154,000	0	154,000	141,715	12,285	啓発用パンフレット印刷代、マイバッ グふえすた関連経費等
3 市民の森づくり	130,000	65,000	195,000	194,440	560	林業講座・各種体験会の関連経費、 資材費等
4 太陽エネルギー普及促進	60,000	-27,000	33,000	32,563	437	啓発活動費、先進地視察研修費
5 聖山自然復元	91,000	-91,000	0	0	0	
6 子どもの環境学習支援	50,000	-1,000	49,000	44,204	4,796	国際ユース環境会議チラシ印刷代
7 ながのカーボンオフセット	0	0	0	0	0	
8 小生物の育成環境保全	241,000	1,000	242,000	241,327	673	繁殖地保全活動費、観察会関連経 費、エドヒガン育苗費等
9 生態系豊かな、水に親しめる川づくり	0	0	0	0	0	
10 ほんすけ育成	50,000	-42,000	8,000	0	8,000	
11 ゴマシジミ保護・育成(新規プロジェ クト)	50,000	0	50,000	50,000	0	ゴマシジミ生息地保全活動費等
III 保険料	49,000	0	49,000	47,600	1,400	
1 保険料	49,000	0	49,000	47,600	1,400	ボランティア保険料
IV 広報費	337,000	0	337,000	331,482	5,518	
1 啓発・報告書等費	328,000	0	328,000	323,840	4,160	活動成果報告書印刷代、市民新聞 広告料等
2 ホームページ維持費	9,000	0	9,000	7,642	1,358	レンタルサーバー利用料、ホーム ページドメイン使用料
V 事務局費	56,000	0	56,000	31,118	24,882	
1 事務局運営費	56,000	0	56,000	31,118	24,882	事務消耗品代、振込手数料、郵送料等
VI 予備費	32,000	-9,000	23,000	0	23,000	
1 予備費	32,000	-9,000	23,000	0	23,000	
合 計	1,450,000	0	1,450,000	1,366,351	83,649	

監査報告書

平成30年6月5日

ながの環境パートナーシップ会議

代表理事 金 井 三 平 様

ながの環境パートナーシップ会議

監 事 小山 勝宏



監 事 小林 清一



私たちは、平成29年6月1日から平成30年5月31日までの平成29年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査方法の概要

- (1) 会計監査については、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて収支決算書及びその附属明細書並びに財産目録の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 収支計算書及びその附属明細書は、平成29年度の収支状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 財産目録の内容は真実であると認める。
- (3) 事業報告書及びその附属明細書の内容は真実であると認める。
- (4) 理事の業務執行に関する不正の行為又は法令もしくは会則に違反する重大な事項はないと認める。

以上

平成 30 年度運営方針（案）

ながの環境パートナーシップ会議 代表理事 金井 三平

ながの環境パートナーシップ会議（以下「P会議」という）は、「アジェンダ 21 ながの - 環境行動計画 - 2018」（以下「アジェンダ 21」という）に掲げる長野市の環境ビジョン『山にみどり・川に清流・谷に風・空に星 自然と和して発展するまち・人のくらし みんなの知恵と行動でつくる環境・未来・ながの』の実現に向けて行動します。

平成 30 年度は、アジェンダ 21 の策定に併せ、同計画に盛り込んだ「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ（SDG s）」※を念頭に置き、地域から地球規模につながる環境活動を推進していきます。

また、プロジェクトサポーター制度を更に推進するとともに、活動成果報告書やホームページ、SNS などの広報ツールを活用し、事業者を含む新規会員を確保することで、P 会議の活性化を図ります。

「つなぐ・伝える・行動する」活動は、市民・事業者・行政との協働を拡大させ、「持続可能な P 会議」とするために継続して取り組みます。

具体的な行動として

1 「アジェンダ 21」を推進します

第二次長野市環境基本計画後期計画の策定に伴い、見直しが行われ策定されたアジェンダ 21 に基づき、長野市域で環境問題に取り組む市民・事業者・団体・行政との更なる協働による環境活動を推進します。

平成 30 年度は、P 会議と各プロジェクトの連携強化による活動の充実（行動する）に併せ、その活動を広く発信（伝える）し、次世代につながる（つなぐ）成果の見える行動により、環境ビジョンの実現を目指します。

（1）P 会議とプロジェクトチームの連携強化と環境活動の充実を図ります（行動する）

「アジェンダ 21 ながの - 環境行動計画 - 2018」の趣旨に沿った活動に取り組む外部団体・事業者との共催や参加などを通じ、協働の拡大を図ります。

① 主催事業の開催

平成 29 年度は、主催事業の企画・運営を担うスペシャルプロジェクトチームを組織し、団体や事業者の環境活動を次世代の若者を中心とした市民の皆さんへ伝えるとともに、団体、事業者相互の交流・協働のきっかけとなることを目的に、「第 7 回ながの環境団体大集合」を開催しました。各種団体や事業

者、高等学校及び大学などの出展により、それぞれの環境活動について活発な意見交換や交流が行われました。

平成30年度の事業実施の際には、昨年度と同様に若者が参画するスペシャルプロジェクトチームを早期に組織し、団体・事業者・学校やプロジェクトチームなどの環境活動を「つなぐ・伝える・行動する」場として、各団体の活動の相互理解が推進され、更にはP会議の新規会員の勧誘につながるよう、充実した主催事業を展開します。

② 他団体との共催・参加・支援

各団体との共催や環境活動へ参加及び支援を通じて、若い世代や市民・事業者などにP会議の活動を広く発信し、協働による活動の参加を呼びかけます。

(例) 信州環境フェア、長野市環境こどもサミット、ライトダウンキャンペーン、ゴミゼロ運動、アレチウリ駆除、山の日ウォーキング、信州大学地域環境演習など

③ 理事会とプロジェクトチームの連携強化

理事会とプロジェクトチームの連携を強化し、一体となって環境活動を進めていくため、合同会議を適宜開催いたします。理事会がプロジェクトチームの活動を把握し、助言及び支援することでプロジェクトチームの活動の充実を図るとともに、P会議の事業を協働で実施します。

(2) ながの環境パートナーシップ会議の活動を広く発信します(伝える)

P会議及びプロジェクトチームの活動状況と成果を活動成果報告書「手をむすんで」にまとめ、P会議の活動をより積極的にアピールします。また、ホームページなどに加えて、新たにSNSを活用し、市民・事業者・団体などに広く情報発信を行ない、環境意識の啓発に努めます。

(3) 次世代につながり成果の見える活動を行います(つなぐ)

目標である長野市の環境ビジョンの実現に向けた活動を強化するため、プロジェクトサポーター制度を更に推進し、団体や事業者との協働の拡大を図るとともに、世代をつないだ活動基盤を構築するため、特に次世代の若者との協働活動を進めます。

2 持続可能な環境パートナーシップ会議を目指します

(1) 自由な発想で楽しみながら取り組める環境活動の提案を積極的に受け入れ、P会議の新規プロジェクトとして立ち上げていくなど組織の拡充を図ります。

(2) 充実した環境活動を行っていくためには、市民・事業者・専門家・若者など、多様な知見・能力を有している方々の集積が必要です。会員・プロジェクトチーム・理事会が協力し、また、それぞれの立場で、仲間づくりを進めるとともに、

会員の増員を図ります。

(3) P会議の活動をより理解していただくとともに、協働による事業展開を推進していくため、新規会員や事業者を対象にした研修会等を開催します。

(4) アジェンダ 21 や運営方針に盛り込んだ「SDGs」を、より深く理解していただくため、会員向けの研修会を開催します。

(5) 充実した活動を実行するために活動資金の確保を検討します。

環境活動支援団体の助成金や企業等からの協賛金の活用を積極的に検討し、プロジェクトチーム単位での助成金申請を支援します。

※【 参 考 】

SDGsとは・・・

2015年(平成27年)9月、国連において、新たなアジェンダとして「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が全会一致で採択されました。これは、人類の発展や地球の繁栄のため2030年までに達成すべき行動計画として、宣言と目標を掲げたものです。

この目標が「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals 略してSDGs(エスディーゼーズ))」であり、これまでのアジェンダ21やミレニアム開発目標(MDGs)などの理念と成果を土台に、豊かさを追求しながら地球を守ることを呼びかける17の目標と169の行動計画で構成され、「誰一人取り残さない」という理念のもと、環境問題と経済発展を両軸に、先進国、発展途上国を含めた全ての国々に持続可能な世界に向けての変革を求めています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



◎平成30(2018)年活動目標・活動計画・予算書

		ながの環境パートナーシップ会議(事務局)			
理想の街 (目指す姿)	山にみどり・川に清流・谷に風・空に星 自然と和して発展するまち・人のくらし みんなの知恵と行動でつくる環境・未来・ながの				
H30	目標・数値目標 ※()内は環境基本計画の目標数値	行動計画			
	地域から地球に広がる環境保全活動を推進することにより、良好な自然環境と生活環境を将来の世代に引き継ぐ/ながの環境パートナーシップ会議への参加者数 5,000人(4,400人)	・アジェンダの見直しを行い、環境保全活動を推進していく。 ・ながの環境パートナーシップ会議と各プロジェクトの連携強化により、「つなぐ」「伝える」「行動する」活動を充実させる。			
H31	目標・数値目標 ※()内は環境基本計画の目標数値	行動計画			
	地域から地球に広がる環境保全活動を推進することにより、良好な自然環境と生活環境を将来の世代に引き継ぐ/ながの環境パートナーシップ会議への参加者数 5,200人(4,500人)	・アジェンダの進捗管理を通じ、環境保全活動を推進していく。 ・ながの環境パートナーシップ会議と各プロジェクトの連携強化により、「つなぐ」「伝える」「行動する」活動を充実させる。			
H32	目標・数値目標 ※()内は環境基本計画の目標数値	行動計画			
	地域から地球に広がる環境保全活動を推進することにより、良好な自然環境と生活環境を将来の世代に引き継ぐ/ながの環境パートナーシップ会議への参加者数 5,400人(4,600人)	・アジェンダの進捗管理を通じ、環境保全活動を推進していく。 ・ながの環境パートナーシップ会議と各プロジェクトの連携強化により、「つなぐ」「伝える」「行動する」活動を充実させる。			
数値目標 (長期)	環境保全活動参加者数:4,700人(第2次長野市環境基本計画 後期計画 H33年度目標値)	平成30年度目標活動参加人数			
		5,000人			
(支出の部)					
	区 分	実施予定	予算額	内 訳	金額:円
本年度活動計画	A 活動費	12月	160,000	1. 自主事業活動費	110,000
		未定		ながの環境団体大集合 (地球温暖化防止活動推進センター補助金対象外経費) 10,000 学習会(講師謝金等) 100,000	
	B 保険料	7月	53,000	2. 共催・参加事業活動費	50,000
		8月		信州環境フェア出展 20,000	
		7.12月		山の日ウォーキング 10,000	
				ライトダウンキャンペーン参加負担金 20,000	
	C 広報費	通年	282,000	1. 啓発・報告書等費	72,500
		通年		活動成果報告書会員宛等送料(@250×150人) 37,500	
				広告料(市民新聞) 35,000	
		2. ホームページ維持費		209,000	
D 事務局費	通年	52,000	バージョンアップ等改修委託料 200,000	51,220	
	通年		レンタルサーバー利用料・ドメイン利用料 9,000		
			1. 事務局運営費		51,220
			事務消耗品費・振込手数料 10,000		
アジェンダ21改訂版発送料(@250×150人) 37,500					
E 予備費	通年	81,000	総会通知(はがき代@62×60人) 3,720	81,000	
	1. 予備費 81,000				
支出予算額合計			628,000	支出積算額合計	626,220
(収入の部)					
	区 分	実施予定	予算額	内 訳	金額:円
本年度活動計画	A 負担金・会費	通年	1,075,000	会費(@500×150人) 75,000	1,075,000
				市負担金 1,000,000円 1,000,000	
	B 雑収入等	通年	270,581	1. 事業収入 210,000	210,000
				2. 雑収入 60,581 60,581	
C 繰越金	通年	209,419	1. 前年度繰越金 209,419	209,419	
収入予算額合計					1,555,000

◎平成30(2018)年活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名		生ごみ削減・再生利用プロジェクト				
理想の街 (目指す姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりが地球環境の悪化を懸念し、ごみの削減・再生利用につとめ、排出量は以前と比べ大幅に減っているまち ・地域ごとに多くの市民が生ごみの減量化・再資源化に取り組み有効活用しているまち ・生ごみの大半がリサイクルされ、可燃ごみが減少しているまち 					
H30	目標・数値目標	行動計画				
	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭系生ごみの有効な自家処理方法を策定し実践する。 ・セブン・イレブン記念財団の助成金によりキッズ生ごみ農園クラブの効率的な資材を充実させ、生ごみ堆肥場と灌水の充実を図る。クラブの家族隊員を増やし、生ごみ堆肥を作製し再生利用に有効なことを示す。 ・数値目標は、可燃ごみ総量に対する生ごみの割合を36.5%に削減する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ堆肥化による生ごみ減量の啓もう、展示活動 ・キッズ生ごみ農園クラブの隊員募集と生ごみと野菜の交換市を周知させる活動 ・生ごみ農園クラブ農場の堆肥場など継続資材確保と維持管理の活動 ・子供のための一坪農園を食農教育として展開する活動 				
H31	目標・数値目標	行動計画				
	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭系生ごみの有効な自家処理方法を策定し実践する。 ・生ごみ堆肥の作製量をさらに増やし、キッズ生ごみ農園に活かすと共に生ごみや一時生成物と栽培した野菜等との交換事業を行う。また、栽培種を増やすことで応用性を示す。 ・キッズ生ごみ農園クラブの家族隊員を増やし運営の充実を目指す。 ・数値目標は、可燃ごみ総量に対する生ごみの割合を36.0%に削減する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ堆肥化による生ごみ減量の啓もう、展示活動 ・キッズ生ごみ農園クラブの隊員募集活動と生ごみと野菜の交換市を周知発展させる活動 ・キッズ生ごみ農園クラブ農場の継続資材確保と維持管理の活動 ・子供のための一坪農園を食農教育として展開する活動 				
H32	目標・数値目標	行動計画				
	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみの有効な資源化と処理方法を策定し実践する。 ・キッズ生ごみ農園クラブの独立を目指し、野菜等の販路拡大により自主財源確保を充実させる。このため、メンバー増員が喫緊の課題でもある。 ・数値目標は、可燃ごみ総量に対する生ごみの割合を35.5%に削減する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ堆肥化による生ごみ減量の啓もう、展示活動 ・キッズ生ごみ農園クラブの隊員募集活動と生ごみと野菜の交換市を周知発展させる活動 ・生ごみ農園クラブ農場の維持管理と自主独立活動 ・子供のための一坪農園を食農教育としてのテキスト作りを完成させる活動 				
数値目標 (長期)	可燃ゴミに対する生ごみの割合を35%以下にする。		平成30年度目標活動参加人数			
			1,200人以上			
	区分	予算(支出の部)	実施予定	説明	金額	
本年度活動計画	A	<ul style="list-style-type: none"> ・大豆島地区の地縁団体通じて地域住民への啓蒙活動 ・生ごみ堆肥化講座と生ごみ堆肥で育てた野菜のお料理教室(春・秋の年2回×2自治協) 	6月～5月	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園への働きかけに関する経費 見本の作成と教材費 	5,000 10,000	
	B	<ul style="list-style-type: none"> 市民への啓蒙 ・展示、講習会(信州環境フェア・アモーレフェスタなど)で配布のチラシ 	6月～5月	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみチームのチラシ キッズ生ごみ農園クラブチラシ 交換市・一坪農園のチラシ作成費 	5,000 20,000 21,800	
	C	<ul style="list-style-type: none"> キッズ生ごみ農園クラブ ・会員家庭の一次生成物及び生ごみの受入れ ・生ごみ堆肥を製造して花や農作物を作る活動 ・会員10家族の確保を目指し、設備の充実 ・収穫祭の実施 ・キッズ生ごみ農園クラブ学習用テキストの作成 	6月～5月	<ul style="list-style-type: none"> キッズ生ごみ農場(地代) 燃料代(ガソリン・混合油代) 生ごみ堆肥の基材・種苗代 収穫祭(軽食代・保険代等) 	32,000 65,000 18,000 60,000	
	D	<ul style="list-style-type: none"> 月例ミーティング ・生ごみ削減・再生利用の市民への啓もう・推進を企画・立案 ・再生利用の講習会等の企画 ・キッズ生ごみ農園クラブの運営と実践会議 ・バイオマス利用等による再資源化の研究開発 	6月～5月	<ul style="list-style-type: none"> 資料代 生ごみリサイクル全国ネット会費 	15,000 1,000	
	支出合計					252,800
		区分	(収入の部)			
		A	収穫祭の参加者500×10			5,000
		B	農産物の販売			5,000
		C	キッズ生ごみ生ごみ農園3600×4			14,400
	収入合計					24,400

◎平成30(2018)年活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名		レジ袋使用削減プロジェクトチーム				
理想の街 (目指す姿)		レジ袋の使用を減らし、買い物袋(マイバッグ)を持参する意識を定着させることにより、ごみ減量に対して市民が主体的に行動し、資源を大切にしているまち				
		目標・数値目標		行動計画		
H30		・ライフスタイルを「3Rから2R」を目指す。 ・使い捨てプラスチック容器を削減するために、その代名詞であるレジ袋をもらわないことを習慣とする。 ・マイバッグ持参率を80%以上とする。		①多くの団体特に学校等(若い世代対象)と連携を取りながら、無料配布中止に向けて取り組む。 ●協力事業者との連携(アンケート調査)●県・長野地域振興局との連携●小規模店舗への推進(対象の検討、働きかけ) ●市民団体との意見交換会 ②レジ袋使用削減の意識啓発を進める。 ●店頭啓発の継続(啓発用グッズの確認作成) ●イベントでの意識啓発●持参率調査●市民団体への協力 ●地域商店会との連携(啓発ステッカー等の配布) ●協力小売店にステッカーの配布 ③環境学習の推進 ●学校等での環境学習啓発用のパンフレット配布		
H31		同上		前年度の反省点や課題等を検証し、目標達成に向け取り組みを継続して行っていく。		
H32		同上		前年度の反省点や課題等を検証し、目標達成に向け取り組みを継続して行っていく。		
数値目標 (長期)		マイバッグ持参率を80%以上とする。		平成29年度目標活動参加人数 300人以上		
		区分	予算(支出の部)	実施予定	説明	金額
本年度活動計画		A	1 環境学習	6月～5月	パンフレット増し刷り	60,000
		B	2 レジ袋使用削減の意識啓発	6月～5月	キャンペーン経費	5,000
					啓発グッズ	25,000
		C	3 アンケート調査	6月～5月	通信費	5,000
		D	4 チーム運営費	6月～5月	コピー代	1,000
					消耗品代	10,000
					保険代	5,600
会場費	1,000					
支出合計						112,600
		区分	(収入の部)			
		A				
		B				
収入合計						0

◎平成30(2018)年活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名		市民の森づくりプロジェクト				
理想の街 (目指す姿)		四方を山に囲まれた長野市には手入れされた里山があり、そこには多様な動植物が暮らす豊かな森がある。人々はこの里山を利用し、楽しみ、未来につなげる自然の大切さについて学ぶことができるまち				
H30	目標・数値目標	行動計画				
	前年以上の市民、他団体との連携を図る。 市民の森づくりに800人以上の参加者を得る。 市民の森の候補地を1箇所以上選定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・里山に関する市民の理解を深め、多くの人に参加してもらおうことを考え、森林整備、林業講座、自然観察会、山遊び、学習会、など多様性に富んだ活動を行うため、検討を重ねる。 ・里山の大切さや山の恵みを利用する楽しさを実感できる「市民の森」を市内に複数設置するための候補地を探す。地元住民との交流を図る。 ・多くの他団体や、個人、事業者との連携を図る。 				
H31	目標・数値目標	行動計画				
	前年以上の市民、他団体との連携を図る。 市民の森づくりに900人以上の参加者を得る。 第二、第三の市民の森を設置し、地元住民と整備を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・里山に関する市民の理解を深め、多くの人に参加してもらおうことを考え、森林整備、林業講座、自然観察会、山遊び、学習会、など多様性に富んだ活動を行うため、検討を重ねる。 ・里山の大切さや山の恵みを利用する楽しさを実感できる「市民の森」を市内に複数設置するための候補地を探す。地元住民との交流を図る。 ・多くの他団体や、個人、事業者との連携を図る。 				
H32	目標・数値目標	行動計画				
	前年以上の市民、他団体との連携を図る。 市民の森づくりに900人以上の参加者を得る。 第二、第三の市民の森を設置し、地元住民と整備を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・里山に関する市民の理解を深め、多くの人に参加してもらおうことを考え、森林整備、林業講座、自然観察会、山遊び、学習会、など多様性に富んだ活動を行うため、検討を重ねる。 ・里山の大切さや山の恵みを利用する楽しさを実感できる「市民の森」を市内に複数設置するための候補地を探す。地元住民との交流を図る。 ・多くの他団体や、個人、事業者との連携を図る。 				
数値目標 (長期)			平成30年度目標活動参加人数			
			800人以上			
	区分	予算(支出の部)	実施予定	説明	金額	
-本年度活動計画	A	森林整備	4月～11月 月2回程度	消耗品費	40,000	
				ユニックレンタル料金×2	40,000	
	B	秋の里山散策	10月	材料費	10,000	
				保険料	1,000	
	C	趣味の林業講座	6月～10月	レンタル工具	10,000	
	D	森林に学ぶネットワーク参加	10月	交通費	10,000	
	E	きのこのコマ打ち体験会	4月	きのこの種駒等	15,000	
				保険料	1,000	
	F	自然観察会(かんじき体験)	2月	保険料	1,000	
	G	おてんま傷害保険料	年間	保険料	65,000	
	H	作業用テント作成用材料費	9月	テント作成の鋼材、木材等材料	102,000	
	支出合計					295,000
		区分	(収入の部)			
	A	秋の里山散策(B)			参加費(@200×20)	4,000
B	きのこのコマ打ち体験会(E)			参加費(@200×20)	4,000	
C	自然観察会(かんじき体験)(F)			参加費(@1000×15)	15,000	
収入合計					23,000	

◎平成30(2018)年活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名	太陽エネルギー普及促進プロジェクト				
理想の街 (目指す姿)	資源を大切に、再生可能エネルギーである太陽光発電を活用した、地球環境保全に配慮した持続可能で活力のあるまち				
H30	目標・数値目標		行動計画		
	・太陽光発電、温水器の有効性や活用方法の知識を習得し、これらを啓発していくことにより、新規太陽エネルギー利用促進に寄与する。200～400人に伝えたい！新技術も勉強し CO2削減に寄与したい！ 田中里山のソーラーシェアリングの進行状況をみながらチームとしてもソーラーシェアリングの可能性に寄与したい！		イベント(4回/年)の開催		
H31	目標・数値目標		行動計画		
	・太陽光発電、温水器の有効性や活用方法の知識を習得し、これらを啓発していくことにより、新規太陽エネルギー利用促進に寄与する。200～400人に伝えたい！新技術も勉強し CO2削減に寄与したい！ 田中里山のソーラーシェアリングの進行状況をみながらチームとしてもソーラーシェアリングの可能性に寄与したい！		イベント(4回/年)の開催		
H32	目標・数値目標		行動計画		
	・太陽光発電、温水器の有効性や活用方法の知識を習得し、これらを啓発していくことにより、新規太陽エネルギー利用促進に寄与する。200～400人に伝えたい！新技術も勉強し CO2削減に寄与したい！ 田中里山のソーラーシェアリングの進行状況をみながらチームとしてもソーラーシェアリングの可能性に寄与したい！		イベント(4回/年)の開催		
数値目標 (長期)	太陽光エネルギーを利用する人が毎年増えるよう伝えたい！			平成30年度目標活動参加人数	
				500人以上	
本年度活動計画	区分	予算(支出の部)	実施予定	説明	金額
	A	太陽光発電、温水器の設置啓発イベント経費(数回実施する予定)	6月～4月	ソーラークッカー材料費	5,000
	B	ソーラーシェアリングの勉強会	6月～7月	資料作成料	6,000
	C	真空管ソーラーオープン購入	6月～8月		15,000
	支出合計				26,000
	区分	(収入の部)			
	A				
B					
収入合計				0	

◎平成30(2018)年活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名	子どもの環境学習支援プロジェクト				
理想の街 (目指す姿)	こどもエコクラブで主に小学生が親と一緒に活動し、中高生になったら「ながのユースクラブ」で自主的に環境活動をおこない、環境団体との連携も図られているまち				
H30	目標・数値目標		行動計画		
	第7回国際ユース環境会議の参加者 50名(ユース)		国際ユース環境会議を開催し、長野の環境団体との連携を図る。		
H31	目標・数値目標		行動計画		
	第8回国際ユース環境会議の参加者 60名(ユース)		国際ユース環境会議を開催し、長野の環境団体との連携を図る。		
H32	目標・数値目標		行動計画		
	第9回国際ユース環境会議の参加者を増やす。		国際ユース環境会議を開催し、長野の環境団体との連携を図る。		
数値目標 (長期)	ユースの自主的な活動組織「ながのユース(国際環境)クラブ」が形成されている。			平成30年度目標活動参加人数	
				200人以上	
本年度活動計画	区分	予算(支出の部)	実施予定	説明	金額
	A	第7回国際ユース環境会議の負担金	6月	チラシ25,000枚作成費	40,000
	B				
	C				
	D				
	支出合計				40,000
	区分	(収入の部)			
	A				
	B				
	収入合計				0

◎平成30(2018)年活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名	ながのカーボンオフセットプロジェクト					
理想の街 (目指す姿)	市民・団体・事業者一人ひとりが、自身の生活・活動に伴う環境負荷を自覚して、環境に優しい地域社会構築への協働に努めているまち					
H30	目標・数値目標		行動計画			
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業(排出量仲介事業+オフセットプロバイダー)制度設計、 ・協働メンバー(事業者・団体)の拡充 		1、チーム会議を通じて、制度設計を図る。 2、広報活動を通じて、協働メンバーを拡充する。			
H31	目標・数値目標		行動計画			
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業(排出量仲介事業+オフセットプロバイダー)制度設計、 ・協働メンバー(事業者・団体)の拡充 		1、チーム会議を通じて、制度設計を図る。 2、広報活動を通じて、協働メンバーを拡充する。			
H32	目標・数値目標		行動計画			
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業(排出量仲介事業+オフセットプロバイダー)制度設計、 ・協働メンバー(事業者・団体)の拡充 		1、チーム会議を通じて、制度設計と運用を開始を目指す。 2、広報活動を通じて、協働メンバーを拡充する。			
数値目標 (長期)	年間の制度利用者数 1,000名			平成30年度目標活動参加人数		
				15人以上		
	区分	予算(支出の部)	実施予定	説明	金額	
本年度活動計画	A	1、チーム会議を通じて、制度設計を図る。	通年	不要	0	
	B	2、広報活動を通じて、協働メンバーを拡充する。	通年	不要	0	
					0	
			支出合計			0
		区分	(収入の部)			
		A				
	B					
		収入合計			0	

◎平成30(2018)年活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名	小生物の育成環境保全プロジェクト					
理想の街 (目指す姿)	身近な自然環境を守り後世に残すため、里山の小生物(オオムラサキ・メダカ・クワガタ・カブトムシなど)を生育しエドヒガン・ヤマモモが咲く豊かな自然環境の保全を目指す。オオムラサキ以外の小生物(ジャコウアゲハ・キアゲハ・アサギマダラ等)の生息環境を作る。松代城を中心に1,000本桜作戦を推進しカウコヒガンサクラをしのぐ松代全体を「マツシロベニエドヒガン」で覆い尽くす環境を目指す。					
H30	目標・数値目標		行動計画			
	<ul style="list-style-type: none"> 小学生・中学生総合学習コミュニティースクールの中で自然観察会開催・推進する。 市民に理解を計るため観察会を実施し啓発活動をする。 小中学校200名・市民200名の参加を目指す。 「マツシロベニエドヒガン」育苗 		<ul style="list-style-type: none"> 小中学校(東条・豊栄小・西条小)観察会を実施する。 エドヒガン接ぎ木育苗を行う。 			
H31	目標・数値目標		行動計画			
	<ul style="list-style-type: none"> 小学生・中学生の総合学習の時間を使い観察会を年数回実施する。 市民に理解を計るため観察会を実施し啓発活動をする。 小中学校300名・市民300名の参加を目指す。 エドヒガン育苗作業 		<ul style="list-style-type: none"> 小中学校観察会恒常的に行うシステムの構築。 エドヒガン苗希望者に配布する。 公園・海津城公園など目標に進める 			
H32	目標・数値目標		行動計画			
	<ul style="list-style-type: none"> 小学生・中学生の総合学習の時間を使い観察会を年数回実施する。 市民に理解を計るため観察会を実施し啓発活動をする。 小中学校及び一般市民対象の観察会を恒常的に開催する。 「マツシロベニエドヒガン」を松代の海津城址跡地含め公共施設・学校へ配布して行く。 		<ul style="list-style-type: none"> 小中学校観察会恒常的に行うシステムの構築。 エドヒガン苗希望者に配布する。 公園・海津城址跡地・学校・公園など目標に進める 			
数値目標 (長期)	竹ノ入を中心にした学習林を軸に長野市の豊かな自然環境の保全を市民が共有できる環境思想の向上を図る。			平成30年度目標活動参加人数		
				700人以上		
本年度活動計画	区分	予算(支出の部)	実施予定	説明	金額	
	A	小生物保護活動に使用	竹ノ入り整備作業外来植物除伐作業に使用	5月～6月	チェーンソー刃 1本	5,000
			竹ノ入り整備作業に使用		鎌・スコップ	15,000
			チェーンソーに使用		オオムラサキ・小生物食料	3,000
			「マツシロベニエドヒガン」育苗(300本)		チェーンソーオイル 10本	10,000
					肥料(化成肥料) 5袋	5,000
	B	共通事項(事務費等)	「マツシロベニエドヒガン」育苗・植樹(900本)に使用	5月～6月	エドヒガン培養土40㍗入100袋	20,000
			チェーンソー及び草刈り機に使用		燃料(ガソリン・混合油)	20,000
			「マツシロベニエドヒガン」育苗地及びフジバカマ・ウイキョウ植栽地借地料		借地料(長澤宅・西澤宅)	20,000
	C	共通事項(事務費等)		5月～6月	業書代	20,000
					インク・コピー用紙等	25,000
					作業費	9,000
					会場借り受け費	8,000
					交通費(リーダー会出席等)	7,000
	支出合計					167,000
区分	(収入の部)					
A						
B						
収入合計					0	

◎平成30(2018)年活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名	ぼんすけ育成プロジェクト					
理想の街 (目指す姿)	里山に生息する絶滅危惧種の多くは、市街地の開発された平野部に生息していた身近な生き物であった。つまり、開発によって生息場所を追われ、里山にたどり着いて生き残っているといえる。過疎の進行した里山で絶滅危惧種の保全の問題を解決することは難しい。ぼんすけ(シナイモツゴ)をシンボルとして、里山の役割と現状を市街地住民にも知ってもらい、里山と市街地の市民が保全目標を共有できる街にしたい。					
H30	目標・数値目標		行動計画			
	<ul style="list-style-type: none"> ・観察会と勉強会の開催 ・ぼんすけ田圃とぼんすけ林檎の栽培 ・ぼんすけの生息する里山で収穫された農産物(米と林檎)の販売 ・ぼんすけ保全池の整備の開始 ・数値目標は、自然観察会等の参加者数300名とする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・シナイモツゴ自然観察会の実施 ・稲作と林檎の栽培 ・ブランド農産物の販売 ・ため池の保全活動(ため池の調査含む) ・定例会や講演会の開催 			
H31	目標・数値目標		行動計画			
	<ul style="list-style-type: none"> ・観察会と勉強会の開催 ・ぼんすけ田圃とぼんすけ林檎の栽培 ・ぼんすけの生息する里山で収穫された農産物(米と林檎)の販売 ・ぼんすけ保全池の整備の開始 ・数値目標は、自然観察会等の参加者数350名とする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・シナイモツゴ自然観察会の実施 ・稲作と林檎の栽培 ・ブランド農産物の販売 ・ため池の保全活動(ため池の調査含む) ・定例会や講演会の開催 			
H32	目標・数値目標		行動計画			
	<ul style="list-style-type: none"> ・観察会と勉強会の開催 ・ぼんすけ田圃とぼんすけ林檎の栽培 ・ぼんすけの生息する里山で収穫された農産物(米と林檎)の販売 ・ぼんすけ保全池の整備の開始 ・数値目標は、自然観察会等の参加者数400名とする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・シナイモツゴ自然観察会の実施 ・稲作と林檎の栽培 ・ブランド農産物の販売 ・ため池の保全活動(ため池の調査含む) ・定例会や講演会の開催 			
数値目標 (長期)	いい自然を守る～シナイモツゴも人もうれしい～そんな共生と呼ばれるような環境保全を目指していきます。			平成30年度目標活動参加人数		
				300人以上		
本年度活動計画	区分	予算(支出の部)	実施予定	説明	金額	
	A	啓発活動 勉強会及び講演会の開催(冬期間)	1～3月	講師謝金・チラシ作成費	40,000	
	B	ため池の保全管理 シナイモツゴ生息地の維持管理活動(草刈等)	4～10月	刈払機 1台	20,000	
	C	定例会開催(毎月第3水曜日13:30～信里合同庁舎) 定例会(講演会)開催に伴う費用	通年	事務費(コピー用紙代等)及び講師謝金等	30,000	
	支出合計					90,000
	区分	(収入の部)				
	A	ぼんすけTシャツ・バッチ・農産物の販売				50,000
	B					
	収入合計					50,000

プロジェクト名	ゴマシジミ保護・育成プロジェクト				
理想の街 (目指す姿)	「元気なふるさと浅川を創生する」を目標に、浅川地区での地域資源の見直しと地域住民の意識の高揚を図り、地域活動への参画意欲を高めるため、浅川地区まちづくり計画を策定し、現在、各種事業を展開している。その事業の一環として地区内に生息が確認されている県指定希少種の蝶「ゴマシジミ」の保護・育成活動を地域住民と協働で実施し、「ふるさとの魅力を自然の豊かさで体験できる環境整備」の推進を図っていく。				
H30	目標・数値目標		行動計画		
	* 専門家等による講習会及び学習会の実施 * 紙芝居の作成及び上演 * ワレモコウの育苗・植栽・保護 * 捕獲禁止の立て看板の作成・生息地への設置 * 生息地内のパトロール・注意喚起 * 生息地周辺の草刈り・間伐 * 生息地範囲の杭打ち 参加者:300人(年間)		1) 専門家等による講習会及び学習会の実施 2) 紙芝居の作成及び上演 3) ワレモコウの育苗・植栽・保護 4) 捕獲禁止の立て看板の作成・生息地への設置 5) 生息地内のパトロール・注意喚起 6) 生息地周辺の草刈り・間伐 7) 生息地範囲の杭打ち		
H31	目標・数値目標		行動計画		
	* 生息地の草刈り・間伐 * 生息地周辺パトロール * ワレモコウ育苗・植栽 * 植栽地状態の観察・研究 参加者:350人(年間)		1) 生息地の草刈り・間伐 2) 生息地周辺パトロール 3) ワレモコウ育苗・植栽 4) 植栽地状態の観察・研究		
H32	目標・数値目標		行動計画		
	同上		同上		
数値目標 (長期)	県指定希少種の蝶「ゴマシジミ」の生態等に対する普及啓発活動を行い、地域住民等への意識の醸成及び地域住民との協働により保護・育成活動を展開していく。			平成30年度目標活動参加人数	
				300人以上	
本年度活動計画	区分	予算(支出の部)	実施予定	説明	金額
	A	草刈り・間伐(チップソー8枚・@1,080)	6月～5月	刈払機10台にて生息地作業	9,000
	B	生息地パトロール(一日2名にて対応)現地往復(約8KM) 燃料費@2,000円	6月～5月	浅川小4年生児童他約70名	26,000
	C	会議費及び事務費	6月～5月	定例会をメンバー13名にて実施	5,000
	支出合計				
区分	(収入の部)				
A					
B					
収入合計					0

◎平成30(2018)年活動目標・活動計画・予算書

プロジェクト名	生態系豊かな、水に親しめる川づくりプロジェクト				
理想の街 (目指す姿)	活動継続に向け調整中				
H30	目標・数値目標		行動計画		
H31	目標・数値目標		行動計画		
H32	目標・数値目標		行動計画		
			(
数値目標 (長期)				平成30年度目標活動参加人数	
				人以上	
	区分	予算(支出の部)	実施予定	説明	金額
本年度活動計画	A				
	B				
	支出合計				0
	区分	(収入の部)			
	A				
	B				
	収入合計				0

プロジェクト名	聖山自然復元プロジェクト				
理想の街 (目指す姿)	活動継続に向け調整中				
H30	目標・数値目標		行動計画		
H31	目標・数値目標		行動計画		
H32	目標・数値目標		行動計画		
数値目標 (長期)				平成30年度目標活動参加人数	
				人以上	
	区分	予算(支出の部)	実施予定	説明	金額
本年度活動計画	A				
	B				
	C				
	D				
支出合計					0
	区分	(収入の部)			
A					
B					
収入合計					0

平成30(2018)年度 ながの環境パートナーシップ会議 予算書(案)

収入

単位:円

項 目	29当初予算額	29決算額	30予算額	30予算額- 29予算額	説 明
I 負担金・会費	1,069,000	1,075,000	1,075,000	6,000	
1 負担金・会費	1,069,000	1,075,000	1,075,000	6,000	市負担金(1,000千円)、会費(500円×150名)
II 事業収入等	67,737	187,507	270,581	202,844	
1 事業収入	7,500	130,000	210,000	202,500	緑の募金公募事業交付金、豊かな環境づくり地域活動支援事業交付金
2 雑収入	60,237	57,507	60,581	344	寄附金、預金利息
III 繰越金	313,263	313,263	209,419	△ 103,844	
1 繰越金	313,263	313,263	209,419	△ 103,844	前年度繰越金
合 計	1,450,000	1,575,770	1,555,000	105,000	

支出

単位:円

項 目	29当初予算額	29決算額	30予算額	30予算額- 29予算額	説 明
I 活動費	90,000	59,755	160,000	70,000	
1 自主事業活動費	35,000	1,400	110,000	75,000	ながの環境団体大集合、学習会
2 共催・参加事業活動費	55,000	58,355	50,000	△ 5,000	信州環境フェア、山の日ウォーキング、ライトダウンキャンペーン負担金
II プロジェクト活動費	886,000	896,396	977,000	91,000	
1 生ごみ削減・再生利用	60,000	192,147	229,000	169,000	
2 レジ袋使用削減	154,000	141,715	113,000	△ 41,000	
3 市民の森づくり	130,000	194,440	272,000	142,000	
4 太陽エネルギー普及促進	60,000	32,563	26,000	△ 34,000	
5 聖山自然復元	91,000	0	0	△ 91,000	当面休止
6 子どもの環境学習支援	50,000	44,204	40,000	△ 10,000	
7 ながのカーボンオフセット	0	0	0	0	
8 小生物の生育環境保全	241,000	241,327	167,000	△ 74,000	
9 生態系豊かな、水に親しめる川づくり	0	0	0	0	当面休止
10 ぼんすけ育成	50,000	0	40,000	△ 10,000	
11 ゴマシジミ保護・育成	50,000	50,000	40,000	△ 10,000	
12 新規プロジェクト	0	0	50,000	50,000	
III 保険料	49,000	47,600	53,000	4,000	
1 保険料	49,000	47,600	53,000	4,000	ボランティア活動保険料(@350×150名)
IV 広報費	337,000	331,482	282,000	△ 55,000	
1 啓発・報告書等費	328,000	323,840	73,000	△ 255,000	活動成果報告書送付料、広告料
2 ホームページ維持費	9,000	7,642	209,000	200,000	HP改修委託料、レンタルサーバ、ドメイン使用料
V 事務局費	56,000	31,118	52,000	△ 4,000	
1 事務局運営費	56,000	31,118	52,000	△ 4,000	事務消耗品、振込手数料、郵送料
VI 予備費	32,000	0	31,000	△ 1,000	
1 予備費	32,000	0	31,000	△ 1,000	
合 計	1,450,000	1,366,351	1,555,000	105,000	

※ 項目間の流用を認める。※会計年度:平成30年6月1日~平成31年5月31日

理事 候補者名簿

(立候補届け順)

9	8	7	6	5	4	3	2	1
	渡辺 ヒデ子	倉又 保雄	金井 三平	佐藤 敏夫	赤羽 和春	西澤 和雄	有金 市隆	河西 弘明

[任期] 平成30年6月17日～平成32年度の通常総会時まで

監事 候補者名簿

(立候補届け順)

2	1
小山 勝宏	小林 清一

[任期] 平成30年6月17日～平成34年度の通常総会時まで

ながの環境パートナーシップ会議 新聞等掲載一覧表 (H29.6.1~H30.5.31)

番号	掲載年月日	掲載新聞名 ・広報紙名	掲載記事見出し	掲載記事の関係団体名 (P会議プロジェクト及びP会議会員団体等)
1	H29.6.1	信濃毎日新聞	里山守る 知識学ぼう 長野市など 18日から「林業」講座	市民の森づくりPT
2	H29.6.3	長野市民新聞	ぼんすけ商標でリンゴや米 栽培手掛け販売	ぼんすけ育成PT
3	H29.6.7	信濃毎日新聞	シナイモツゴの池 生かし生かされ	ぼんすけ育成PT
4	H29.6.7	信濃毎日新聞	絶滅懸念の淡水魚 シナイモツゴ 生息環境守れ	ぼんすけ育成PT
5	H29.6.7	信濃毎日新聞	「淡竹」料理で魅力発信	母さんの玉手箱本舗企業組合
6	H29.6.13	信濃毎日新聞	長野工高校生 独自製品紹介	長野工業高校
7	H29.6.19	信濃毎日新聞	学んで守る シナイモツゴ	ぼんすけ育成PT
8	H29.6.20	長野市民新聞	オオムラサキ 学校近くの雑木林に生息 来月4日に観察会	小生物の育成環境保全PT
9	H29.6.22	長野市民新聞	ながの農協と県 こども食堂など支援	こども食堂
10	H29.6.22	長野市民新聞	住民「ぼんすけ」観察	ぼんすけ育成PT
11	H29.6.24	長野市民新聞	食品ロス削減訴える	NPO法人みどりの市民
12	H29.6.24	長野市民新聞	ライトダウンキャンペーン 2017 in ながの 広告	ライトダウンながの実行委員会
13	H29.6.24	長野市民新聞	食品ロス削減 長野で講演会	NPO法人みどりの市民
14	H29.6.28	信濃毎日新聞	シナイモツゴすむ環境考える	ぼんすけ育成PT
15	H29.7.1	長野市民新聞	7日 長野駅前広場で ろうそく並べコンサート	ライトダウンながの実行委員会
16	H29.7.4	長野市民新聞	ライトダウンキャンペーン 10周年記念 Love & Peace キャンドルナイトコンサート	ライトダウンながの実行委員会
17	H29.7.4	長野市民新聞	食品廃棄で環境会議	国際ユース環境会議実行委員会 (子どもの環境学習支援PT)
18	H29.7.15	週刊長野	キッズ生ごみ農園クラブ 夏の収穫祭(ジャガバタを味わう会)	生ごみ削減・再生利用PT
19	H29.7.21	信濃毎日新聞	「シナイモツゴ」保全 生息のため池周辺で草取り	ぼんすけ育成PT
20	H29.7.25	長野市民新聞	平成29年盛夏 暑中お見舞い申し上げます 広告	ながの環境パートナーシップ会議
21	H29.7.26	信濃毎日新聞	長野の団体 来月ジャガイモ掘る収穫祭	生ごみ削減・再生利用PT
22	H29.7.27	信濃毎日新聞	信州環境フェア2017 広告	信州環境フェア実行委員会
23	H29.8.10	長野市民新聞	ヒートアイランド現象 親子連れ実施で体験	NPO法人みどりの市民
24	H29.8.27	信濃毎日新聞	信州環境フェア2017 広告	信州環境フェア実行委員会
25	H29.8.29	長野市民新聞	密漁防止へ早朝巡回 ゴマシジミ 浅川自治協が霊園で	ゴマシジミ保護・育成PT
26	H29.9.2	週刊長野	家庭のできるエコ	高木直樹さん (信州大学工学部教授・NPO法人みどりの市民代表理事)
27	H29.9.6	信濃毎日新聞	生ごみを資源に 松代から	長野市農業研修センター
28	H29.9.9	週刊長野	ゴマシジミ 活発な地元の保護活動	ゴマシジミ保護・育成PT
29	H29.9.15	環境保全研究所 「みどりのこえ」	ぼんすけもふる里も守りたい 「ぼんすけ育成会」	ぼんすけ育成PT
30	H29.9.16	週刊長野	家庭のできるエコ	渡辺ヒデ子さん (NPO法人みどりの市民事務局長)
31	H29.9.27	信濃毎日新聞	ゴマシジミ保護 紙芝居で伝える	ゴマシジミ保護・育成PT
32	H29.9.28	長野市民新聞	ゴマシジミ保全紙芝居 完成品小学校に寄贈	ゴマシジミ保護・育成PT
33	H29.11.15	信濃毎日新聞	絶滅の恐れあるチョウ「ゴマシジミ」 保護願う紙芝居 寄贈	ゴマシジミ保護・育成PT
34	H29.11.29	信濃毎日新聞	オオムラサキ 成虫どこへ? 長野・松代繁殖地	小生物の育成環境保全PT

35	H29.11.30	長野市民新聞	ながの環境団体大集合2017 広告	ながの環境団体大集合 スペシャルプロジェクトチーム
36	H30.12.9	長野市民新聞	環境団体が交流会 16日に生涯学習センターで	ながの環境団体大集合 スペシャルプロジェクトチーム
37	H29.12.9	週刊長野	企業や学校など23団体 環境活動を発表 16日 学生も企画に参	ながの環境団体大集合 スペシャルプロジェクトチーム
38	H29.12.14	信濃毎日新聞	ながの環境団体大集合 お知らせ	ながの環境団体大集合 スペシャルプロジェクトチーム
39	H29.12.19	長野市民新聞	環境団体が集い アイデアを披露	ながの環境団体大集合 スペシャルプロジェクトチーム
40	H29.12.19	信濃毎日新聞	環境保全の取り組み一堂に 長野で23団体「大集合」	ながの環境団体大集合 スペシャルプロジェクトチーム
41	H30.1.20	長野市民新聞	環境啓発イベントに若者参加	ながの環境団体大集合 スペシャルプロジェクトチーム
42	H30.1.26	信濃毎日新聞	希少種守る方策考える	ぼんすけ育成PT
43	H30.3.17	長野市民新聞	食の支援とネットワーク	NPO法人フードバンク信州
44	H30.3.17	長野市民新聞	ミールケアがCFで年間通した収穫体験 提供	株式会社ミールケア
45	H30.3.17	長野市民新聞	松代・エドヒガン植栽事業 28日苗木掘り出し	小生物の育成環境保全PT
46	H30.3.24	信濃毎日新聞	松代のグループ 善光寺に桜奉納	小生物の育成環境保全PT
47	H30.3.27	長野市民新聞	エドヒガン苗木 善光寺に奉納	小生物の育成環境保全PT
48	H30.3.31	長野市民新聞	フードドライブ 官民協働組織 設立へ	NPO法人フードバンク信州
49	H30.4.1	広報ながの	食品ロスを減らすために	NPO法人NPOホットライン信州
50	H30.4.13	信濃毎日新聞	市民の森プロジェクト キノコの駒打ち体験	市民の森づくりPT
51	H30.4.15	長野市民新聞	ながの環境パートナーシップ会議 広告	ながの環境パートナーシップ会議
52	H30.4.19	長野市民新聞	市役所でフードドライブ 食品や洋服 多数寄贈	NPO法人NPOホットライン信州
53	H30.4.20	信濃毎日新聞	「ぼんすけ米」価格再検討へ	ぼんすけ育成PT
54	H30.5.19	長野市民新聞	来月3日市内で河川の水質調査	NPO法人みどりの市民
55	H30.5.19	長野市民新聞	ながの環境パートナーシップ会議 広告	ながの環境パートナーシップ会議
56	H30.5.30	信濃毎日新聞	田植えて守る シナイモツゴのため池	ぼんすけ育成PT
57	H30.5.31	長野市民新聞	歩道のぬかるみ改良 飯綱の実験林 木製ステップ設置	市民の森づくりPT

H29. 6. 20
長野市民新聞



オムサキ
オムサキ
オムサキ

学校近くの雑木林に生息
来月4日に観察会

学校近くの雑木林に生息するオムサキの観察会が、来月4日に開催される。観察会は、地域の自然環境を学ぶ機会となる。オムサキは、雑木林に生息する鳥類で、主にオムサキとオムサキが、地元の自然環境を学ぶ機会となる。観察会は、地域の自然環境を学ぶ機会となる。オムサキは、雑木林に生息する鳥類で、主にオムサキとオムサキが、地元の自然環境を学ぶ機会となる。

県立中央高等学校から説明を受ける児童（昨年6月）

H29. 6. 22
長野市民新聞

信里「ぼんすけ」観察

信里「ぼんすけ」の観察で、観察会が、地域の自然環境を学ぶ機会となる。観察会は、地域の自然環境を学ぶ機会となる。オムサキは、雑木林に生息する鳥類で、主にオムサキとオムサキが、地元の自然環境を学ぶ機会となる。

保護団体が信里小で会
特徴や生息域学ぶ

信里「ぼんすけ」の観察で、観察会が、地域の自然環境を学ぶ機会となる。観察会は、地域の自然環境を学ぶ機会となる。オムサキは、雑木林に生息する鳥類で、主にオムサキとオムサキが、地元の自然環境を学ぶ機会となる。



シナイモツコを手にとって観察する子供

信里「ぼんすけ」の観察で、観察会が、地域の自然環境を学ぶ機会となる。観察会は、地域の自然環境を学ぶ機会となる。オムサキは、雑木林に生息する鳥類で、主にオムサキとオムサキが、地元の自然環境を学ぶ機会となる。

ライトダウンする夜は、みんなが地球を想う夜。

ライトダウンキャンペーン

2017 in ながの

6月21日水～7月7日金

このキャンペーンは10月1日地球温暖化防止のために、
 全日本各地で同時に行われ、今年も5月21日より開催されています。
 日本では2005年から始まり、今年10周年を迎えました。

みんなくライトダウン! ★主催ライトダウンながの実行委員会

いっしょにライトダウン6/21

クールアースデーライトダウン

7/7

http://lightdown.nagano-cp.net/

Love&Peace

キャンドルナイト コンサート

7/7 金 19:00 - 20:30

会場 JR長野駅美光寺口駅前広場

出演
 清水まなぶ
 草木野心
 ラフダイヤモンド
 キャンドルライトアップ
 手づくりのエコキャンドル、竹キャンドル
 メッセージキャンドル
 エコキャンドルはLove&Peaceに賛同するメッセージを
 書いてください。キャンドルはピンセットで取り出し、お
 手づくり。天候等により変更の可能性があります。

主催：ライトダウンながの実行委員会 長野市環境及地球温暖化対策室 TEL:224-7532 NPO法人みどりの市民 TEL&FAX:235-5113



食品廃棄で環境会議

子供らおやき作り体験も

おやきを作って交流する学生たち

中学生・大学生が「(大学生)と分析。肉のパーベキユーナ
 国際的な視野を広げ、国内の年間廃棄物量を
 理解し、対する理解を深める「年々増加する
 ニース環境会議」が21日(中学生)など、時
 Eまでの2日間、市街少年養成センター山
 田中IIで開かれた。22人が参加し、食残し
 や賞味期限切れで廃棄される食品「フードロ
 ス」をテーマにレポートを発表したり、郷土
 のおやきを作ったりして交流した。

「レポート」を事前に日本語で添削を作成して送った。参加者は24(年)から毎年開催
 され、レポート発表の他、市内の食廃りサイクル
 実践者による講演会やシビエ(廃生協)と
 交流した。

初めに参加した信大付属中一年の黒澤和夏さん(12)は「大学生は英語が上手だった。もっと勉強して、来年も参加したい」と話していた。

H29. 7. 4
長野市民新聞

H29. 7. 4
長野市民新聞

◆キッズ生ごみ農園クラブ 夏の収穫祭 (ジャガバタを味わう会) 7月23日(日)10:00～12:00、屋島・落合橋下流のキッズ生ごみ農場。参加費一般500円、小学生100円(保険代、軽食含む)。会員は圃、持ち物/生ごみ1kg、手袋、長靴、袋など入れ物。汚れてもいい服装で。当日は会員申し込みも受け付け。圃方サイ ☎1828・4723

H29. 7. 15
週刊長野

H29. 7. 25

長野市民新聞

環境にいいこと 一緒にはじめませんか？

全員が「チム」
募集中



こんな活動をしています

- 生きもの再生期（ルシカ使用）
- 市民のくつろぎ（芝生刈り）
- 山の自然を元（芝生の刈り）
- カーボンフットプリント削減
- 小生の環境教育
- みんなのチム（チム）の活用

私たちはこの活動を応援しています

- 長野県環境政策課
- 長野市環境政策課
- 長野市環境政策課
- 長野市環境政策課
- 長野市環境政策課
- 長野市環境政策課

市民・事業者・行政の協働による環境活動

ながの環境パートナーシップ会議

長野市環境政策課内

事務局 / 〒380-8512 長野市大字新原町1613番地 電話026-224-5034 FAX026-224-5108

密猟防止へ早朝巡回

ゴマシジミ 浅川自治協が霊園で



浅川地区に生息する希少な「ゴマシジミ」とその仲間
の保全に取り組む同地区住民自治協賛会内の担当チームは
25日から、密猟を防ぐために生息地の市霊園「浅川清水」で早
朝パトロールを始めた。密猟者は盗撮機がない時間帯を狙
うことで、早朝からの巡回が出勤する午前8時30分まで巡回す
る。

初日に担当したメンバーは、改められた。パ
ートナーシップは、広さ約26 トロールは密猟の抑止、無
数の霊園内の生息地 にもなる。油断して 屏風の捕獲を禁止し
5カ所を中心巡回 続けた「」と語ってい
北條隆幸さん(72) いた。 チームは20
浅川西条は「場所を」の本年最初会合、巡
回場所や密猟者捕獲後

H28. 8. 29

長野市民新聞

生息地をパトロールす
るチームメンバー
の通報の流れなどを確
認。チームのアドバイ
ザーで同霊園管理事務
所の徳永昭行所長は、
餌や産卵場所となる花
「フレモコウ」や、越
冬を助ける「シワ

クシタマリ」などを確
明した。
徳永さん(74)「ゴマシジミが
ない」ゴマシジミは生
きていけないため、併
せて保護が必要「密
猟者は県外からも来
る。一番の天敵は人
を立てるべきだ。

H29. 8. 10

週刊長野

ヒートアイランド現象

親子連れ実地で体験

環境保全活動に取り
組む「0年入」親子
の市民「は」は、新
市の緑が豊か
な「グリーン」な
環境を、新市の
環境保全活動に関
わった。親子連れなど約10
人が参加。総合司会の
トニー・田中が、



放射温度計で気温を測る子供たち

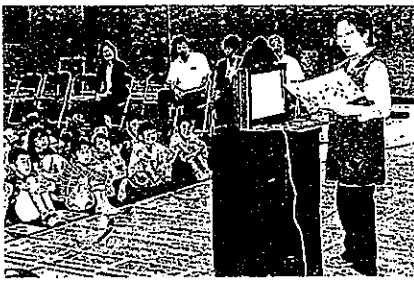
放射温度計で気温を測る子供たち

北部版

完成小学校に寄贈 コマシジミ保全紙芝居

菅内地区を生産する「奇蹟した。4年生町人」を対称に校内で上演会を開催。チョウが好む「コマシジミ」の生態をテーマにした紙芝居「コマシジミ」の制作チームは、11月21日、浅川小学校に完成品を寄贈した。

浅川自治協



コマシジミは、主人公ながら成長し、恋をし、ついに羽を伸ばす物語。子どもたちが楽しみながら、コマシジミの生態を学べる紙芝居が好評です。

「コマシジミ」の紙芝居は、100部を印刷し、菅内地区の小学校に寄贈しました。この紙芝居は、コマシジミの生態を詳しく描き、子どもたちが楽しみながら学べる内容です。また、紙芝居の制作には、地域の子どもたちが協力しました。

H29. 9. 28
長野市民新聞

ながの環境団体大集合!!

12月16日(土) 13:00~16:30

長野市生涯学習センター4階
TOIGO WEST 大学晋室1・2・3

体験コーナー
●オリジナルマイバッグ作成コーナー
●オリジナルの「エコ」をデザイン!
●P会編環境スタンプラリー

同時開催 マイバッグふえすた
●マイバッグコンテスト応募作品展示
●レジ袋削減、マイバッグの情報展
●マイバッグ写真展

次世代へつなぐ環境活動
アイデアコンテスト
各賞 ●夢があるで賞 ●私たちがやってみたい賞
●思いが伝わったで賞 ●つながっていくべきで賞
●審査委員長特別賞

入場無料
お誘いください!!

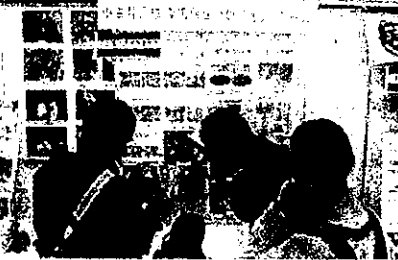
展示ブース・ポスターセッション

H29. 11. 30
長野市民新聞

環境団体が交流会

16日に生涯学習センターで

長野市と企業、市民が交流した。マイバッグ作りは無地の紙にイラストを描いて自由にデザインできる。スタンプラリーも、環境団体の活動を紹介する内容で、交流が盛んだった。



環境の取り組みを紹介した昨年の展示ブースは、今年も好評でした。また、マイバッグ作りは、無地の紙にイラストを描いて自由にデザインできる。スタンプラリーも、環境団体の活動を紹介する内容で、交流が盛んだった。

今回の交流会は、環境団体の活動を紹介するだけでなく、マイバッグ作りやスタンプラリーを通じて、市民と環境団体の交流を促進しました。また、展示ブースでは、環境団体の取り組みを紹介するだけでなく、市民の意見も聞きました。

今後の活動として、環境団体の活動を紹介するだけでなく、市民の意見も聞きます。また、展示ブースでは、環境団体の取り組みを紹介するだけでなく、市民の意見も聞きます。

H29. 12. 9
長野市民新聞



<70>

集まりまし
た。

「アインテ
ア」は活動者若
い世代への支
援、担い手
となつていま
す。

昨年12月16日、「第
7回ながの環境団体大
集合」が開催されまし
た。県内の環境団体と
企業、学校が、環境活
動に関する様々な交流
イベントを企画し、盛
況です。なかの環境バ
ンク「アインテア」が
中心となって、今年も
1月に開催しました。公
民が参加し、活動の
人が参加し、夢があ
る「アインテア」が
中心となって、今年も
1月に開催しました。



学生をはじめ多
くの若者が参加
した「ながの環
境団体大集合ス
マッシュ」

成チームは「
アインテア」が
中心となって、今
回は「アインテ
ア」が中心とな
り、活動の担い
手となつていま
す。アインテア
は、活動者若い
世代への支援、
担い手となつて
います。

「アインテア」が
中心となって、今
回は「アインテ
ア」が中心とな
り、活動の担い
手となつていま
す。アインテア
は、活動者若い
世代への支援、
担い手となつて
います。

「アインテア」が
中心となって、今
回は「アインテ
ア」が中心とな
り、活動の担い
手となつていま
す。アインテア
は、活動者若い
世代への支援、
担い手となつて
います。

「アインテア」が
中心となって、今
回は「アインテ
ア」が中心とな
り、活動の担い
手となつていま
す。アインテア
は、活動者若い
世代への支援、
担い手となつて
います。

「アインテア」が
中心となって、今
回は「アインテ
ア」が中心とな
り、活動の担い
手となつていま
す。アインテア
は、活動者若い
世代への支援、
担い手となつて
います。

「アインテア」が
中心となって、今
回は「アインテ
ア」が中心とな
り、活動の担い
手となつていま
す。アインテア
は、活動者若い
世代への支援、
担い手となつて
います。

<72>



です。仕事に
就けない人
がやがやと
増えていま
す。一人親世
帯、介護世帯
、生活が苦しい
家庭の数は多
く増えています。



長野中央ライオンズクラブが長野駅
コンコースで昨年10月1日に行った
フードドライブ

食と支援とネットワーク

「アインテア」は、活動者若い
世代への支援、担い手となつて
います。アインテアは、活動者
若い世代への支援、担い手とな
つています。

「アインテア」は、活動者若い
世代への支援、担い手となつて
います。アインテアは、活動者
若い世代への支援、担い手とな
つています。

「アインテア」は、活動者若い
世代への支援、担い手となつて
います。アインテアは、活動者
若い世代への支援、担い手とな
つています。

「アインテア」は、活動者若い
世代への支援、担い手となつて
います。アインテアは、活動者
若い世代への支援、担い手とな
つています。

「アインテア」は、活動者若い
世代への支援、担い手となつて
います。アインテアは、活動者
若い世代への支援、担い手とな
つています。

かけがえのない環境を
次世代の子どもたちへつなげるために

(会員・親子4人)
募集中

一緒に環境活動をはじめませんか?

どんな活動をしています

- 生ごみ削減・再生利用 ●レジ袋使用削減
- 市民の森づくり ●太陽エネルギー普及促進
- 聖山の自然復元 ●子どもの環境学習支援
- カーボンオフセット制度の調査・研究
- 小生物の育成環境保全
- ほんすけ(シナイモツゴ)の保護活動
- ゴマシジミの保護活動 ほか



市民・事業者・行政の協働による環境活動

ながの環境パートナーシップ会議

長野市環境保全温暖化対策課内

〒380-8512 長野市大字西真砂町1613茶地 電話026-224-5034 FAX026-224-5108

H30. 4. 15

長野市民新聞

まちのどろろが政良

飯綱町の自然の保護を目的とする環境保全会が、市内の柳沢池をめぐり、市民の森づくりを推進している。柳沢池付近では、市が6月23日に例年行っている市民の森づくりを、今年も例年通り実施する。市民の森づくりは、柳沢池付近の柳沢池をめぐり、市民の森づくりを推進している。柳沢池付近では、市が6月23日に例年行っている市民の森づくりを、今年も例年通り実施する。

来月3日市内で
河川の水質調査
NPOなどの市民
長野市内を中心に環
境保全活動などに取
組む「NPO法人みど
りの市民」は6月3
日、市内河川の水質を
調査する。全国の市民
団体が共同で行う「身
近な水環境の全国一斉
調査」の一環。一般参
加者を24日まで募集し
ている。

午前8時に穂花あや
とりの橋下流の穂花川河
川敷に集約。数人のク
ループと市内の河川
に分かれ、専用キット
で気温や水温、水の汚
れなどを測る。6月
30日午前10時～正午に
市ふれあい福祉センタ
ーで報告会を開き、各
河川の特定外来生物な
どを紹介する。

対象は小学生以上の
親子で定員20組。参加
費1人200円。参加
者の氏名、住所、学年
を明記し、同NPO法
人（fantasynews.
5113@nail.mil
dori@midoriie.com）
へ申し込む。

H30. 5. 19

長野市民新聞

H30. 5. 31

長野市民新聞

ながの環境パートナーシップ会議会則

平成21年6月25日

改正 平成21年10月17日

一部改正 平成22年6月5日

一部改正 平成23年6月4日

一部改正 平成24年6月10日

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、ながの環境パートナーシップ会議と称する。

(事務所)

第2条 本会の事務所は、長野市環境部環境政策課内に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 本会は、長野市域における環境を保全するためのネットワークを築くとともに、地球規模の環境問題へ視野を広げ、地域から地球に広がる環境保全活動を推進することにより、良好な自然環境と生活環境を将来の世代に引き継ぐことを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 「アジェンダ21ながの—環境行動計画—」の推進
- (2) 環境保全に関する普及啓発
- (3) 環境保全活動を行う団体等の支援
- (4) 環境の保全と創造に関する提言
- (5) その他前条の目的を達成するために必要な事業

第3章 会員

(会員)

第5条 本会は、目的に賛同する市民及び団体並びに行政機関をもって構成する。

2 会員は、正会員及び本会の活動を支援する賛助会員とする。

(入会)

第6条 本会の会員になろうとするものは、別に定める入会申込書を代表理事に提出し、理事会の承認を得なければならない。

(会費)

第7条 会員は、会費を納入しなければならない。

- 2 会費は年会費とし、その金額は理事会でこれを定める。
- 3 既納の会費は、返還しない。

(退会)

第8条 会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(除名)

第9条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- (1) この会則その他この会則に基づく規程に違反したとき。
- (2) 本会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
- (3) その他除名すべき正当な事由があるとき。

(会員資格の喪失)

第10条 会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 第7条の支払義務を2年以上の期間にわたり履行しなかったとき。
- (2) 当該会員が死亡し、又は解散したとき。

第4章 役員

(役員の設定)

第11条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 理事 5人以上10人以内
 - (2) 監事 2人以内
- 2 理事のうち1人を代表理事とする。
 - 3 代表理事以外の理事のうち2人を副代表理事とする。

(役員を選任)

第12条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。ただし、理事のうちの1人は、長野市環境部長の職にある者をもってあてる。

- 2 代表理事及び副代表理事は、理事の互選とする。

(理事の職務及び権限)

第13条 理事は、理事会を構成し、この会則の定めるところにより、職務を執行する。

- 2 代表理事は、この会則の定めるところにより、本会を代表し、その業務を執行する。
- 3 副代表理事は、代表理事を補佐し、代表理事に事故あるときは、その職務を代行する。

(監事の職務及び権限)

第14条 監事は、理事の職務の執行を監査し、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、幹事に対して事業の報告を求め、本会の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第15条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結の時までとする。

- 2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結の時までとする。
- 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
- 4 理事又は監事は、第11条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第16条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。

(顧問)

第17条 本会に、任意の機関として、顧問を置くことができる。

2 顧問は、次の職務を行う。

- (1) 代表理事の相談に応じること。
- (2) 理事会から諮問された事項について意見を述べること。

3 顧問の選任は、理事会において決議する。

4 顧問の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない

第5章 総会

(種別)

第18条 本会の総会は、通常総会及び臨時総会の2種とする。

(構成)

第19条 総会は、すべての正会員をもって構成する。

(権限)

第20条 総会は、次の事項について決議する。

- (1) 会則の変更
- (2) 理事及び監事の選任又は解任
- (3) 会員の除名
- (4) 事業計画及び収支予算
- (5) 事業報告及び収支決算
- (6) 解散及び残余財産の処分
- (7) その他本会に関する重要な事項

(開催)

第21条 通常総会は、毎年度1回開催する。

2 臨時総会は、次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。

- (1) 理事会が必要と認め招集の請求をしたとき。
- (2) 総会員の10分の1以上から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。
- (3) 監事から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。

(招集)

第22条 総会は、理事会の決議に基づき代表理事が招集する。

2 代表理事は、前条第2項各号の規定による請求があったときは、その日から30日以内に臨時総会を招集しなければならない。

3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第23条 総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する。

(議決権)

第24条 総会における議決権は、正会員1人につき1個とする。

(定足数)

第25条 総会は、正会員の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(決議)

第26条 総会の議事は、この会則に別に規定するもののほか、出席会員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。この場合において、議長は、正会員として議決に加わる権利を有しない。

(書面主義)

第27条 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決し、又は代理人に表決を委任することができる。この場合において、前2条の規定の適用については、出席したものとみなす。

(議事録)

第28条 総会の議事については、議事録を作成する。

2 議長及び出席した理事のうち1人以上は、前項の議事録に記名押印する。

第6章 理事会

(構成)

第29条 本会に理事会を置く。

2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第30条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) 本会の業務執行の決定
- (2) 代表理事及び副代表理事の選定及び解職
- (3) その他本会の運営に関し必要な事項

(招集)

第31条 理事会は、次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。

- (1) 代表理事が必要と認めたとき。
- (2) 理事総数の2分の1以上から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。
- (3) 監事から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。

(決議)

第32条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 理事が、理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わることのできる理事の全員が書面又は電磁記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。ただし、監事が異議をのべたときは、その限りでない。

(会議記録)

第33条 理事会の議事については、確認事項等を記載した会議記録を作成する。

第7章 プロジェクトチーム等

(プロジェクトチーム)

第34条 第4条に規定する事業を推進するため、プロジェクトチームを置くことができる。

- 2 プロジェクトチームは、希望する会員をもって構成する。
- 3 プロジェクトチームは、会議、ワークショップ、講演会、研修会の開催、事業化に向けた調査研究等の具体的な活動を実施する。

(プロジェクト実施会議)

第35条 第4条に定める事業を推進するため必要と認められる場合、プロジェクト実施会議を開催することができる。

- 2 プロジェクト実施会議は、プロジェクトチーム、長野市関係課、顧問等事業の推進に必要な者及び事務局又は理事をもって構成する。

第8章 事務局

(設置等)

第36条 本会の事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局に、事務局長及び所要の職員を置く。
- 3 事務局長及び職員は、代表理事が任命する。
- 4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の承認を経て、代表理事が別に定める。

第9章 資産及び会計

(資産の構成)

第37条 本会の資産は、次に掲げる事項をもって構成する。

- (1) 会費
- (2) 寄付金品
- (3) 事業に伴う収入
- (4) 資産から生ずる収入
- (5) その他の収入

(資産の管理)

第38条 資産は、代表理事が管理し、その方法は、理事会の決議を経て代表理事が別に定める。

(経費の支弁)

第39条 本会の経費は、資産をもって支弁する。

(事業年度)

第40条 本会の事業年度は、毎年6月1日に始まり翌年の5月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第41条 本会の事業計画及び収支予算は、毎事業年度の開始の日の前日までに、代表理事が作成し、理事会の決議を経て、総会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

- 2 前項の書類については、当該事業年度が終了するまでの間、事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(暫定予算)

第42条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、代表理事は、理事会の決議を経て、予算の成立の日まで前年度の予算に準じ収入支出することができる。

2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告及び決算)

第43条 本会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、代表理事が次の書類を作成し、監事の監査を経て、通常総会に報告しなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 収支決算書
- (4) 収支決算書の附属明細書
- (5) 財産目録

第10章 会則の変更及び解散

(会則の変更)

第44条 この会則は、総会の決議によって変更することができる。

(解散)

第45条 本会は、総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(財産の贈与)

第46条 本会が解散する場合には、総会の決議を経て、財産残額に相当する額の財産を、地方公共団体に贈与するものとする。

第11章 公告の方法

(公告の方法)

第47条 本会の公告は、電子公告により行う。

2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法による。

附 則

(施行期日)

1 この会則は、平成21年10月17日から施行する。

(経過措置)

2 最初の総会は、ながの環境パートナーシップ会議会則（平成13年5月8日制定。以下「旧会則」という。）第4条第1項各号に規定する者が招集することができる。

3 この会則の施行の日前に旧会則の規定に基づく会員であったものは、第6条の規定に関わらず、本会の会員とする。

4 本会の会費は、平成22年5月31日までの間は、第7条第1項の規定にかかわらず、納入を要しない。

(役員任期の特例)

5 最初の総会で選任される幹事及び監事の任期は、第15条第1項及び第2項の規定にかかわらず、平成22年に開催される通常総会の終結の時までとする。

附 則

この会則は、平成21年10月17日から施行する。

附 則

この会則は、平成 22 年 6 月 5 日から施行する。

附 則

この会則は、平成 23 年 6 月 4 日から施行する。

附 則

この会則は、平成 24 年 6 月 10 日から施行する。